

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-10

< 第6週 > インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少した / その他最新動向

< 1月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症について



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報
P.11-13

インフルエンザウイルス 2012/13シーズン



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.14-21

新種のコロナウイルス感染症について / チャドで黄熱の患者が発生しました / インフルエンザ / カンボジア、エジプト、中国で鳥インフルエンザの患者が発生しました



感染症の話
P.22

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
P.23-24

風疹発症後の妊娠について / 家庭における先天性風疹症候群の児のケアについて



グラフ総覧(6週)
P.25-30



グラフ総覧(1月)
P.31-36



1月のデータ
P.37-39



6週のデータ
P.40-53



発生動向総覧

< 第6週コメント > 2月13日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核315例

3類感染症

細菌性赤痢1例 菌種: *S. sonnei* (D群) 感染地域: 秋田県

腸管出血性大腸菌感染症13例(有症者8例、うちHUSなし)

感染地域: 国内13例

国内の感染地域: 新潟県4例、鹿児島県2例、青森県1例、福島県1例、群馬県1例、千葉県1例、静岡県1例、京都府1例、福岡県1例

年齢群: 1歳(1例)、7歳(1例)、10代(3例)、20代(1例)、30代(1例)、40代(1例)、50代(1例)、60代(3例)、80代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(4例)、O157 VT2(4例)、O26 VT2(4例)、O91 VT1(1例)

累積報告数: 62例(有症者39例、うちHUS 4例、死亡なし)

4類感染症

E型肝炎2例

感染地域: 北海道1例 感染源: 不明

感染地域: 宮崎県1例 感染源: 豚の排泄物

A型肝炎3例

感染地域: 千葉県1例、島根県1例、国内(都道府県不明)1例

つつが虫病3例

感染地域: 和歌山県2例、鹿児島県1例

マラリア1例

原虫種不明 感染地域: インド

レジオネラ症14例(肺炎型13例、ポンティアック型1例、うち1例死亡)

感染地域: 茨城県2例、東京都2例、神奈川県1例、静岡県1例、愛知県1例(温泉)、大阪府1例(温泉)、兵庫県1例、徳島県1例、愛媛県1例、福岡県1例、大分県1例、鹿児島県1例

年齢群: 50代(1例)、60代(4例)、70代(5例)、80代(2例)、90代(2例)

5類感染症

アメーバ赤痢11例(腸管アメーバ症9例、腸管外アメーバ症1例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 埼玉県2例、宮崎県2例、東京都1例、神奈川県1例、愛知県1例、大阪府1例、国内(都道府県不明)2例、韓国/タイ1例

感染経路: 経口感染1例、性的接触1例(異性間)、不明9例

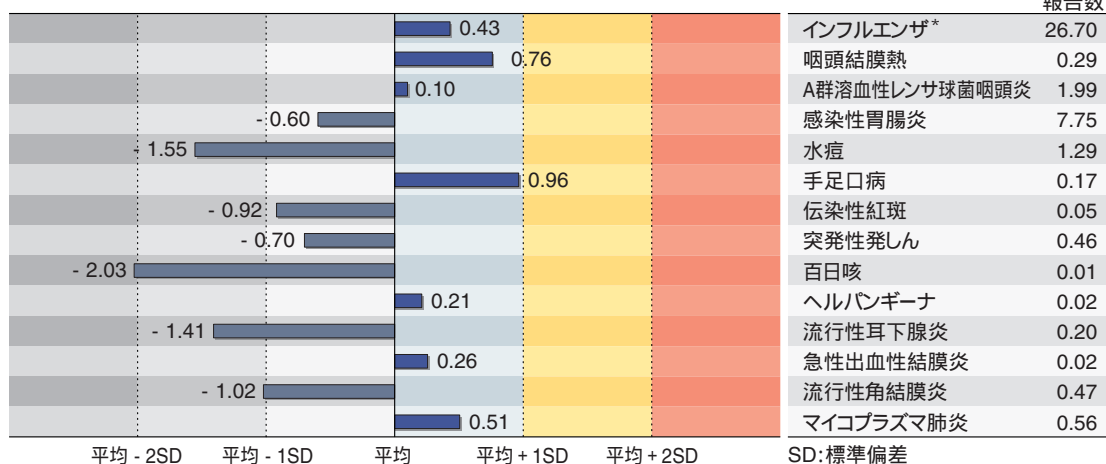
- ウイルス性肝炎2例 B型2例__感染経路: 性的接触1例(異性間)、不明1例
 急性脳炎8例 インフルエンザウイルスA型5例__年齢群: 3歳(2例)、40代(1例)、60代(2例)
 インフルエンザウイルスB型1例__年齢群: 6歳
 インフルエンザウイルス型不明1例__年齢群: 4歳
 病原体不明1例__年齢群: 7歳
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例
 年齢群: 40代(1例)、50代(3例)、60代(1例、死亡)
 後天性免疫不全症候群5例(AIDS 1例、無症候性キャリア3例、その他1例)
 感染地域: 国内4例、国内・国外不明1例
 感染経路: 性的接触5例(同性間4例、異性間・同性間不明1例)
- ジアルジア症2例 感染地域: 国内(都道府県不明)1例、ソロモン諸島1例
 梅毒10例(早期顕症I期1例、早期顕症II期5例、無症候4例)
 バンコマイシン耐性腸球菌感染症4例
 遺伝子型: *VanA* 1例__菌検出検体: 尿
 遺伝子型: *VanC* 2例__菌検出検体: 血液1例、腹水1例
 遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 尿
- 風しん138例(検査診断例122例、臨床診断例16例)
 感染地域: 東京都41例、埼玉県12例、千葉県8例、兵庫県7例、神奈川県6例、大阪府6例、茨城県3例、北海道2例、栃木県2例、三重県2例、群馬県1例、長野県1例、静岡県1例、愛知県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)42例、国内・国外不明2例
 年齢群: 1歳(1例)、5～9歳(2例)、10～14歳(3例)、15～19歳(5例)、20～24歳(19例)、25～29歳(22例)、30～34歳(24例)、35～39歳(22例)、40代(29例)、50代(11例)
 累積報告数: 535例(検査診断例430例、臨床診断例105例)
- 麻しん7例〔麻しん(検査診断例1例、臨床診断例5例)、修飾麻しん(検査診断例1例)〕
 感染地域: 千葉県1例、大阪府1例、国内(都道府県不明)5例
 年齢群: 10～14歳(1例)、20～24歳(1例)、30～34歳(3例)、35～39歳(1例)、40代(1例)
 累積報告数: 32例〔麻しん(検査診断例6例、臨床診断例20例)、修飾麻しん(検査診断例6例)〕

(補)2013年第5週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎4例〔感染地域: 北海道3例__感染源: 豚レバー2例、レバー1例、感染地域: 中国1例__感染源: 不明〕、オウム病2例〔感染地域: 国内(都道府県不明)2例__感染源: インコ2例〕、急性脳炎5例〔インフルエンザウイルスA型3例__年齢群: 2歳(1例)、5歳(1例)、80代(1例)、ヒトヘルペスウイルス6型1例__年齢群: 0歳、病原体不明1例__年齢群: 3歳〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例〔60代(1例)、70代(1例、死亡)〕などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第6週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では愛知県(42.47)、鹿児島県(40.69)、新潟県(39.62)、愛媛県(36.52)、広島県(34.48)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は1,423例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(1.22)、山形県(0.67)、熊本県(0.66)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では石川県(6.28)、鳥取県(4.42)、富山県(4.41)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では宮崎県(17.53)、熊本県(16.72)、鹿児島県(13.24)が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(3.24)、鹿児島県(3.13)、宮崎県(2.86)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福岡県(1.10)、大分県(0.67)、島根県(0.61)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では岩手県(0.33)、香川県(0.23)、新潟県(0.13)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(0.09)、秋田県(0.06)、滋賀県(0.06)、広島県(0.06)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では長崎県(0.55)、福井県(0.09)、富山県(0.07)が多い。

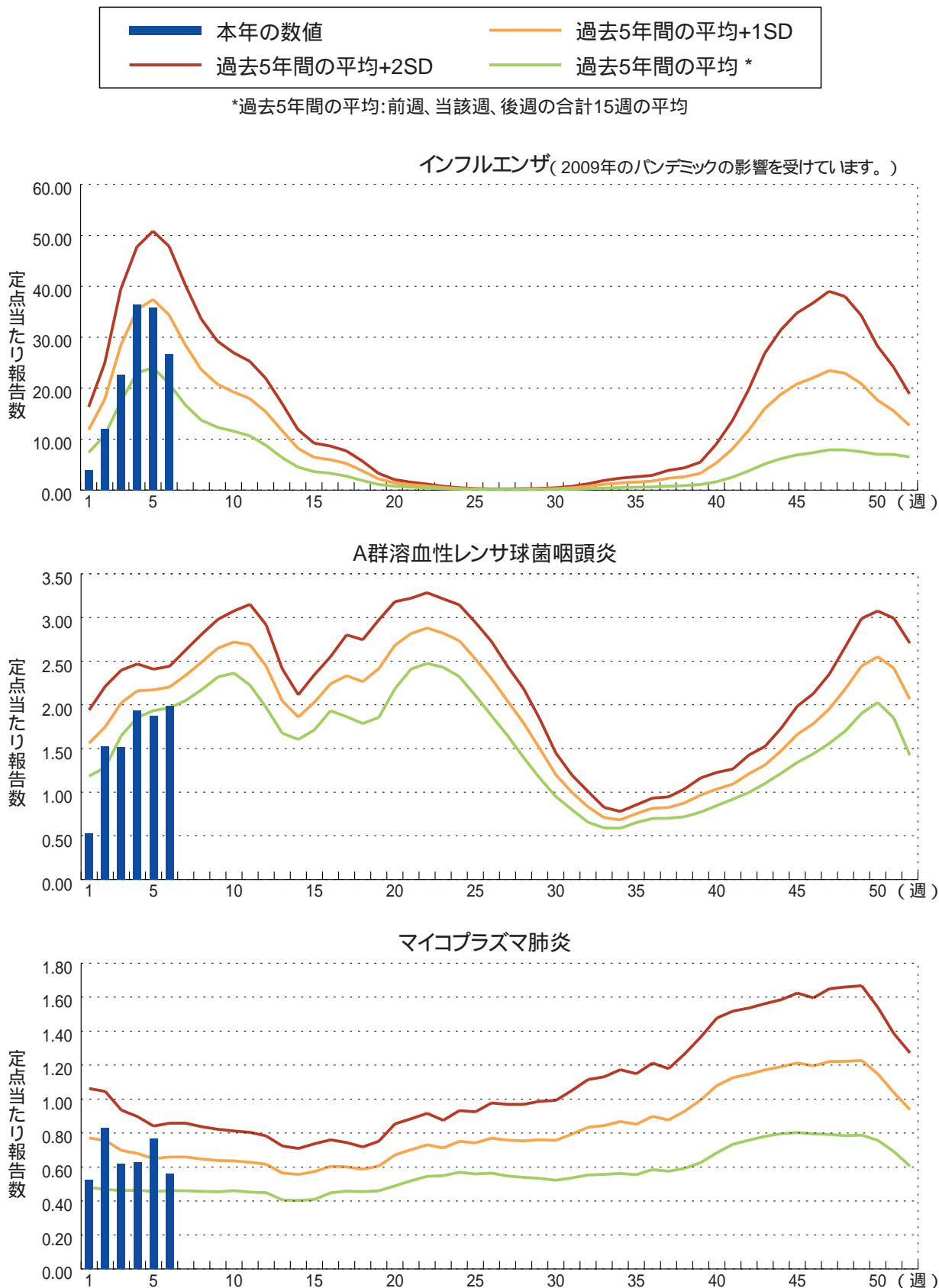
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(1.14)、山形県(0.90)、福岡県(0.66)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮城県(1.83)、岡山県(1.40)、高知県(1.25)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2013年第6週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



1月コメント

性感染症について(2月12日集計分)性感染症定点数 967

(産婦人科・産科・婦人科:464、泌尿器科:408、皮膚科:83、性病科:12)

月別推移

2013年1月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が2.09(男1.00、女1.09)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.72(男0.29、女0.43)、尖圭コンジローマが0.49(男0.28、女0.21)、淋菌感染症が0.80(男0.63、女0.16)であった。対象4疾患の中では、男性では性器クラミジア感染症、次いで淋菌感染症が多く、女性では性器クラミジア感染症、次いで性器ヘルペスウイルス感染症が多かった(図1)。

前月に比べると、男性では、性器クラミジア感染症で増加、性器ヘルペスウイルス感染症で増加、尖圭コンジローマで増加、淋菌感染症で増加であった。女性では、性器クラミジア感染症で増加、性器ヘルペスウイルス感染症で減少、尖圭コンジローマで増加、淋菌感染症で増加した(31～34ページ「グラフ総覧」参照)。過去5年間の同時期と比較すると、男性では、尖圭コンジローマがやや多かった。女性では、性器ヘルペスウイルス感染症と尖圭コンジローマがやや多かった(図2)。

図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(1月)

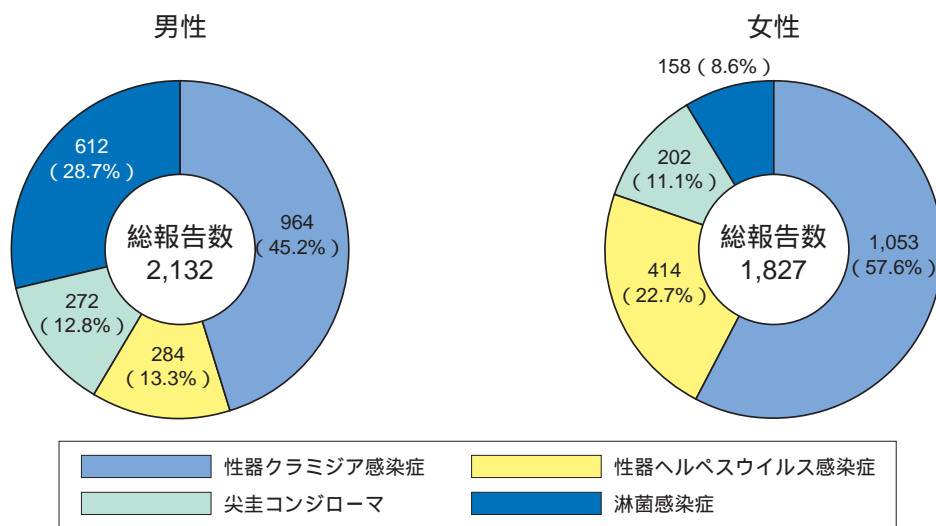
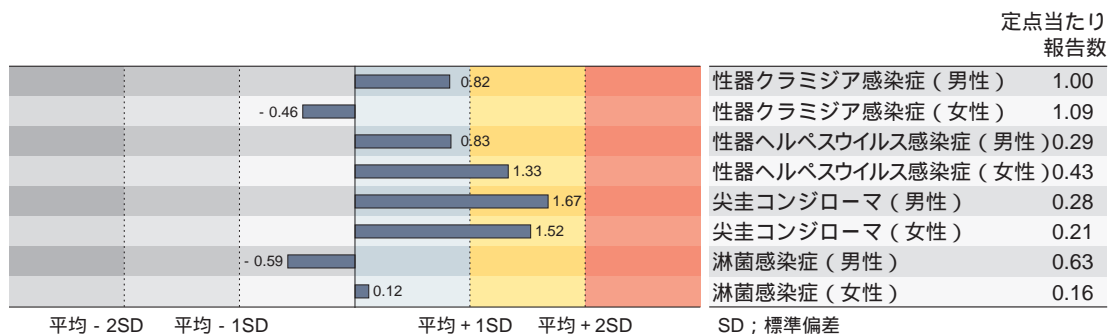


図2. 性感染症の定点当たり報告数の過去5年間の同時期との比較(1月)



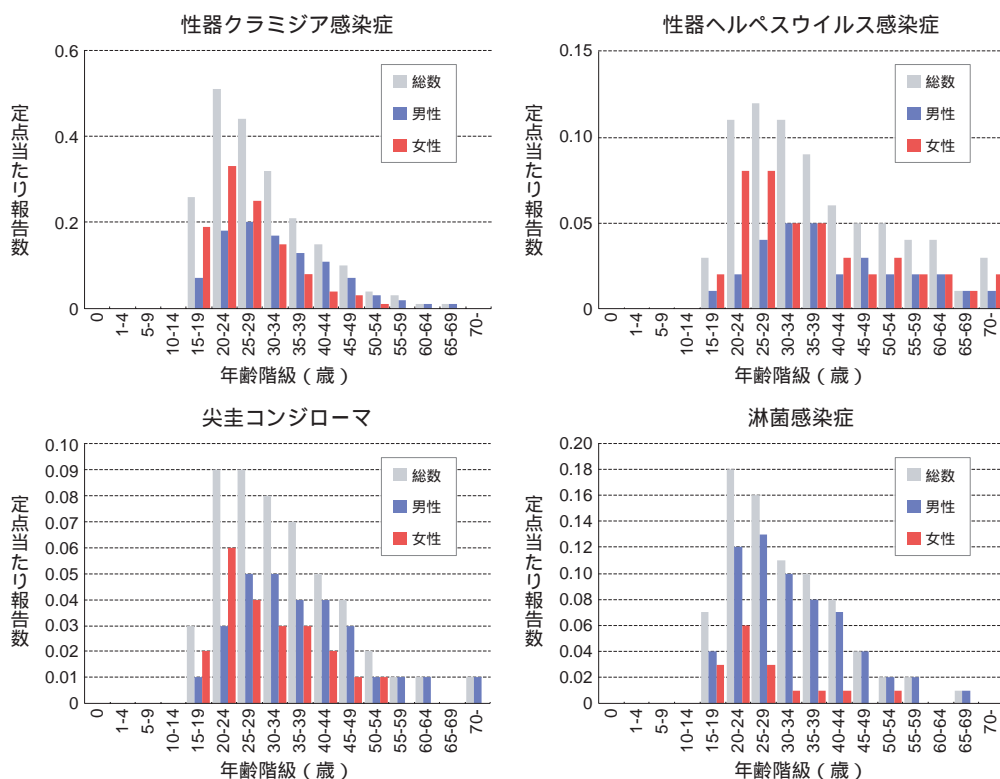
当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)との差をグラフの上に表現した。

男女別・年齢群別

年齢群別(0歳、1～4歳、5～69歳は5歳毎、および70歳以上)でみた定点当たり報告数のピークは、男性では、性器クラミジア感染症は25～29歳の年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症は30～39歳の2つの年齢群、尖圭コンジローマは25～34歳の2つの年齢群、淋菌感染症は25～29歳の年齢群であった。女性では、性器クラミジア感染症は20～24歳の年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症は20～29歳の2つの年齢群、尖圭コンジローマは20～24歳の年齢群、淋菌感染症は20～24歳の年齢群であった(図3)。男女ともに4疾患すべてで15～19歳の年齢群の報告があり、男性では性器ヘルペスウイルス感染症で、女性では性器クラミジア感染症と淋菌感染症で10～14歳の年齢群の報告があった。また、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の3疾患の報告は、男性では60代以上は僅かであり、女性では50代以上は僅かである。しかし、性器ヘルペスウイルス感染症は男女ともに、50代以降の報告も少なくない。届出基準では「明らかな再発例は除外する」と明示されているが、これらの報告の中には再発例が含まれている可能性がある。

年齢群毎にみた定点当たり報告数の男女の比較では、性器クラミジア感染症では15～29歳の3つの年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症では15～29歳、40～44歳、50～54歳、70歳以上の6つの年齢群、尖圭コンジローマでは15～24歳の2つの年齢群という比較的低い年齢層を中心に女性が男性より多く、他の年齢群は同値あるいは男性が多かった。淋菌感染症ではすべての年齢群で男性が女性より多かった。ただし、性感染症定点は泌尿器科系、婦人科系および皮膚科系などの診療科から構成されており、男女の比較については各地域におけるそれらの比率等の影響を受ける可能性がある。

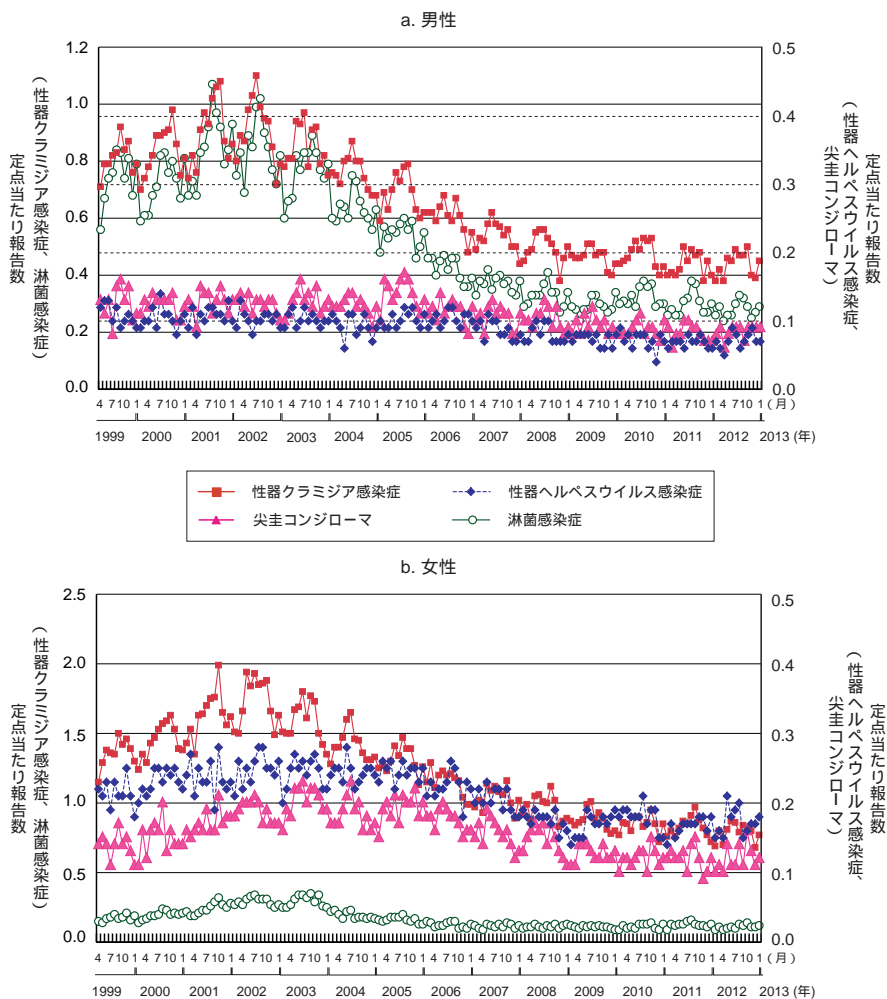
図3. 性感染症の性別・年齢群分布(1月)



若年層での推移

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年層(15～29歳)における各疾患の定点当たり報告数を男女別・月別に図4に示した。性器クラミジア感染症は男性では2003年以降減少傾向がみられた後、2009年以降はほぼ横ばいである。女性では2003年以降減少傾向がみられた後、2010年以降はほぼ横ばいである。性器ヘルペスウイルス感染症は男性では2007年以降減少傾向がみられた後、2010年以降はほぼ横ばいである。女性では2006年以降減少傾向がみられた後、2009年以降はほぼ横ばいである。尖圭コンジローマは男性では2006年以降減少傾向がみられた後、2011年以降はほぼ横ばいである。女性では2006年以降減少傾向がみられた後、2010年以降はほぼ横ばいである。淋菌感染症は男性では2003年以降減少傾向がみられた後、2009年以降はほぼ横ばいである。女性では2004年以降減少傾向がみられた後、2007年以降はほぼ横ばいである。前月との比較では、男性では性器クラミジア感染症で増加、性器ヘルペスウイルス感染症で同値、尖圭コンジローマで同値、淋菌感染症で増加であった。女性では性器クラミジア感染症で増加、性器ヘルペスウイルス感染症で増加、尖圭コンジローマで増加、淋菌感染症で増加であった。

図4. 若年層における性感染症の年別・月別推移 (15～29歳、1999年4月～2013年1月)



薬剤耐性菌感染症について(2月12日集計分)

2013年1月の基幹定点総数: 467

定点当たり報告数

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

3.88(前月3.68、前年同月4.09)

定点当たりの報告数は、例年年間を通じてほぼ一定である。1月は前月より増加した。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

0.56(前月0.64、前年同月0.76)

定点当たりの報告数は、2011年までは春から初夏(4～6月)と冬(11、12月)に多く、夏(7～9月)に少なく推移していたが、2012年は年間を通じて報告数が少なく、季節性の変動が明確でなかった。1月は前月より減少し、過去10年間の同月との比較では最も少なかった。

薬剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

0.05(前月0.04、前年同月0.07)

定点当たりの報告数は、例年後半が前半に比して多い傾向があったが、2012年は年間を通じてほぼ一定であった。1月は前月より増加し、過去10年間の同月との比較では2010年と並んで最も少なかった。

薬剤耐性アシネトバクター(MDRA)感染症

-(前月-、前年同月0.00)

定点当たりの報告数は、報告数が極めて少ないため傾向の把握が困難である。1月は報告がなかった。

年齢階級別

MRSA感染症...高齢者に多く、70歳以上が全体の67%を占めている(図1)。

PRSP感染症...小児と高齢者に多い。5歳未満が全体の34%を占める一方、70歳以上が全体の41%を占めている(図2)。

MDRP感染症...高齢者に多く、70歳以上が全体の76%を占めている(図3)。

MDRA感染症...今月は報告がなかった。

性別(女性を1として算出した男女比)

MRSA感染症...男:女=1.7:1

PRSP感染症...男:女=1.5:1

MDRP感染症...男:女=3.2:1

MDRA感染症...今月は報告がなかった。

都道府県別

MRSA感染症...定点当たりの報告数は沖縄県(7.86)、大分県(7.64)、宮崎県(7.14)が多い。

PRSP感染症...定点当たりの報告数は千葉県(2.67)、長野県(1.91)、奈良県(1.83)が多い。

MDRP感染症...報告総数が25例にとどまるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難である。

MDRA感染症...今月は報告がなかった。

薬剤耐性菌感染症について(1月)

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

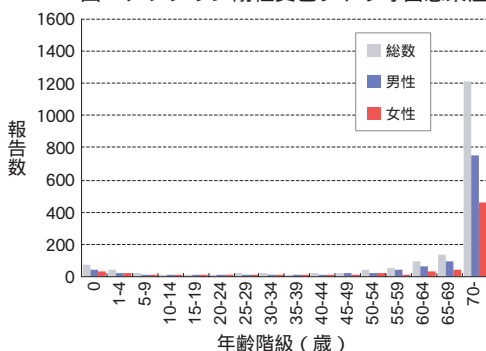


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

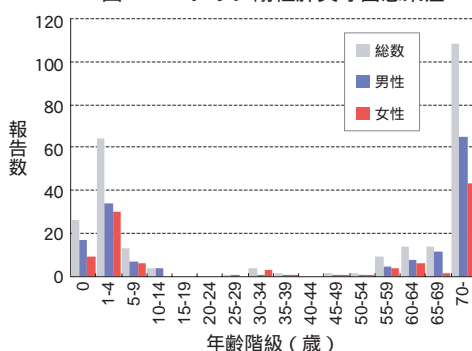


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症

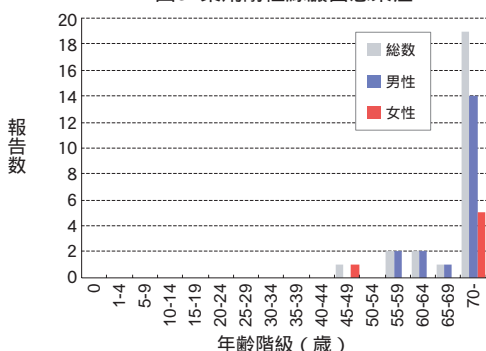
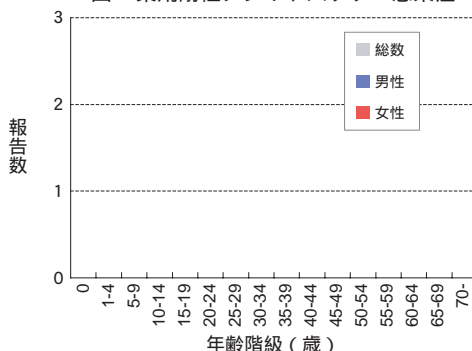


図4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

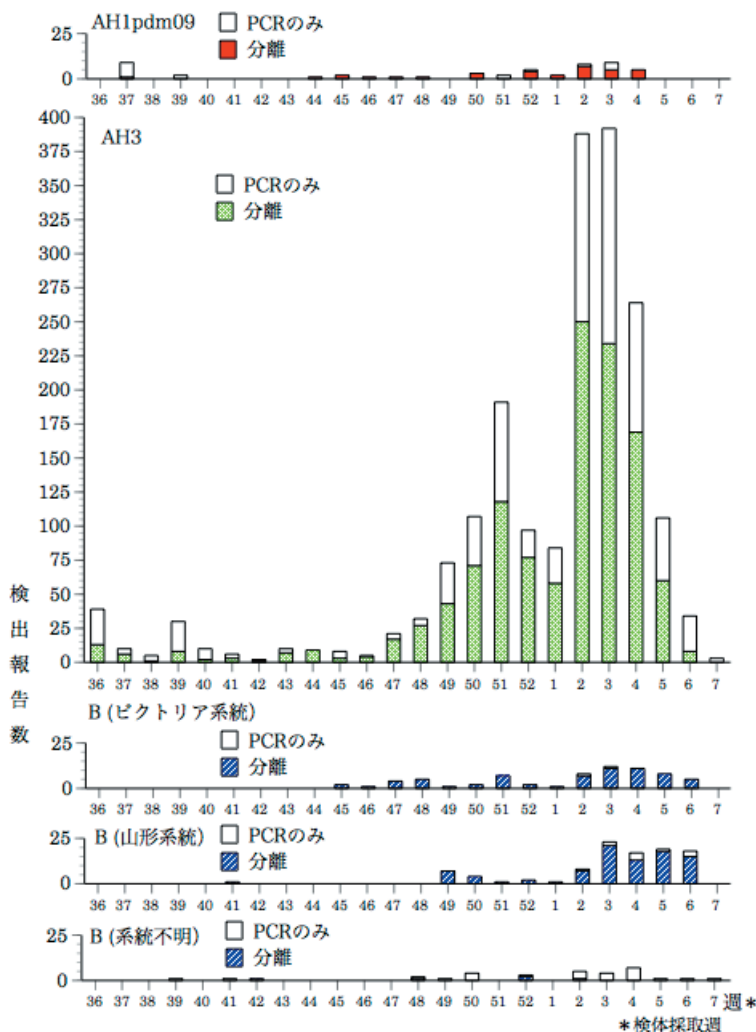
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2013年2月14日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2012/13シーズン

2012/13シーズン(2012年第36週/9月～2013年第35週/8月)は当初よりAH3亜型が主に検出され、2012年第47週以降増加し始めた。年末年始は一旦減少したが、2013年第2週から再増加している。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2012年第36週～2013年第7週
(病原微生物検出情報: 2013年2月14日現在報告数)

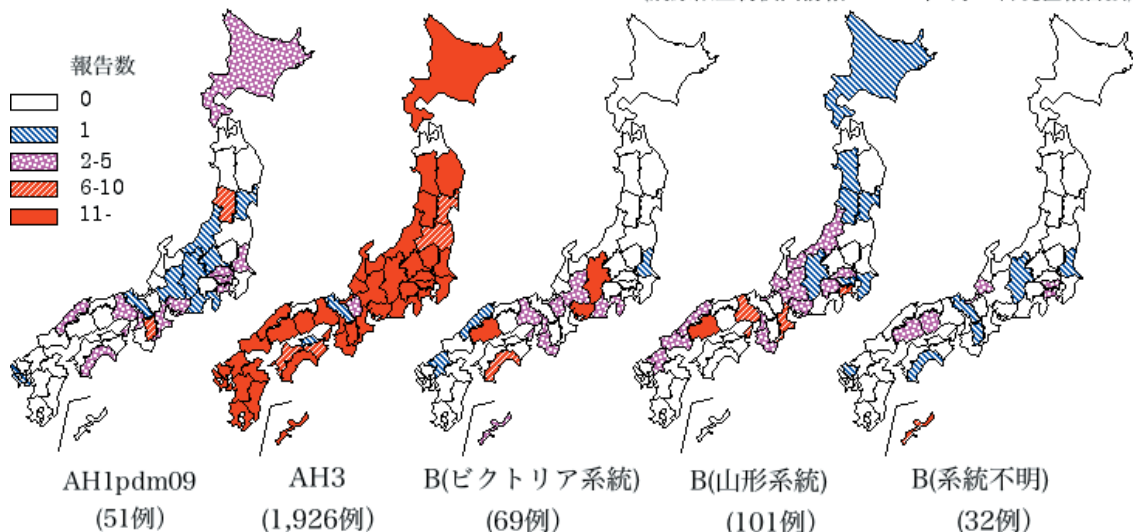


(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2012年第36週～2013年第7週の累積では、AH1pdm09が21都道府県から51件、AH3亜型が45都道府県から1,926件、B型はビクトリア系統株が14府県から69件、山形系統株が23都道府県から101件、系統不明株が12都府県から32件報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2012年第36週～2013年第7週
(病原微生物検出情報：2013年2月14日現在報告数)



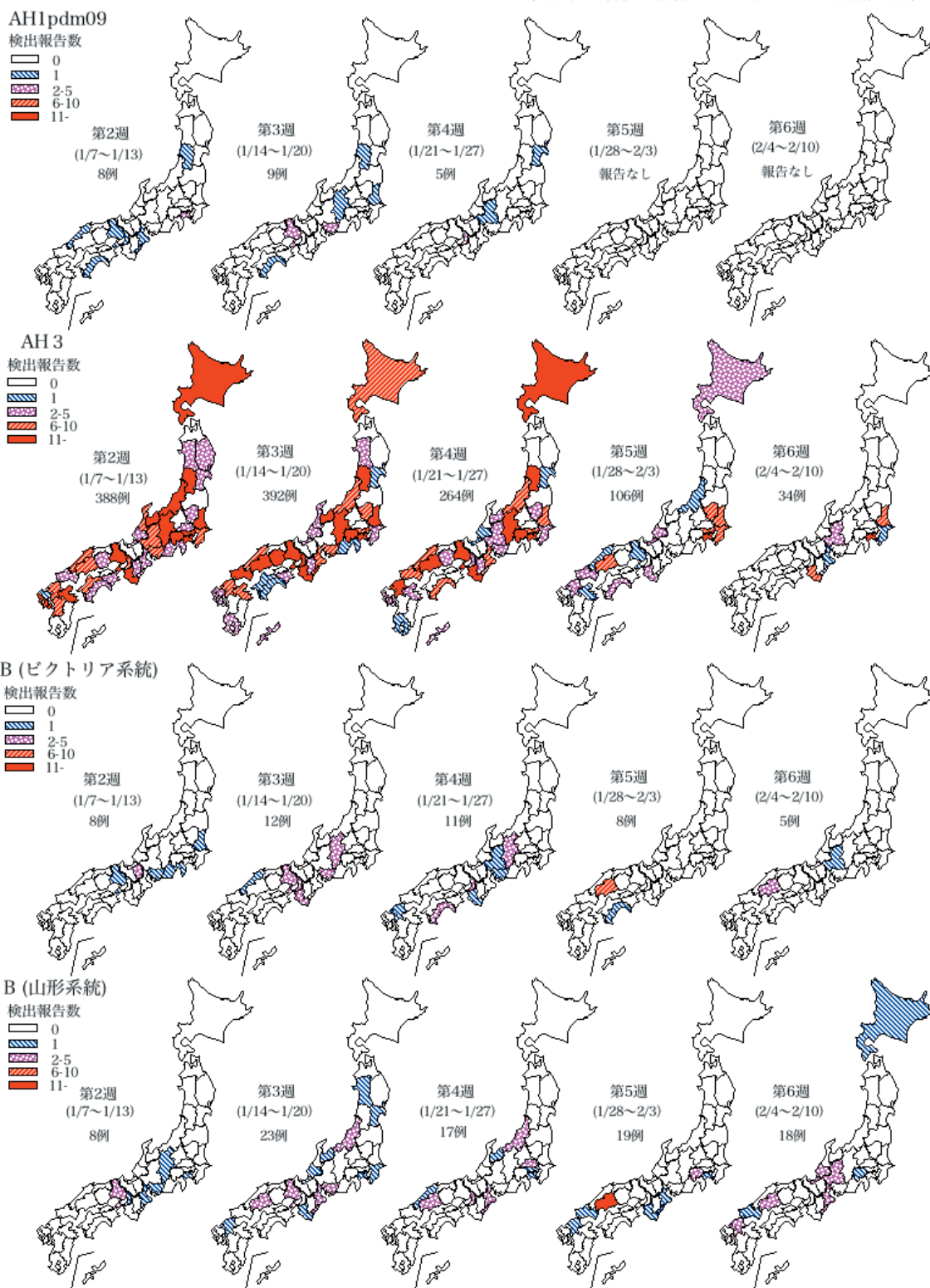
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した



2013年第2～6週の5週間では、AH1pdm09が12府県から22件(大阪府4件、愛知県、兵庫県各3件、山形県、神奈川県、高知県各2件、宮城県、茨城県、長野県、岐阜県、三重県、島根県各1件) AH3亜型が39都道府県から1,184件(神奈川県229件、茨城県89件、兵庫県61件、山形県53件、和歌山県52件、北海道51件、山梨県47件、広島県44件、長野県43件、富山県42件、東京都41件、福岡県37件など) B型はビクトリア系統株が13府県から44件(広島県11件、長野県、愛知県各5件、滋賀県、大阪府各4件、兵庫県、和歌山県、高知県各3件、岐阜県2件、茨城県、静岡県、島根県、福岡県各1件) 山形系統株が22都道府県から85件(広島県24件、三重県10件、新潟県、愛知県、兵庫県各5件、神奈川県、岐阜県、福岡県各4件、福井県、山梨県、大阪府各3件、埼玉県、富山県、和歌山県、山口県各2件など) 系統不明株が9都府県から18件(沖縄県5件、神奈川県、広島県各3件、東京都2件、茨城県、福井県、奈良県、高知県、佐賀県各1件) 報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2013年第2週～第6週
 (病原微生物検出情報：2013年2月14日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した





海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

新種のコロナウイルス感染症について(更新1)

2013年2月13日 WHO(GAR)

2月13日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、英国で新種のコロナウイルス(NCoV)に感染した確定患者1名が新たに報告されました。患者は英国に住んでおり、2月11日に公表された患者の親戚です。

この患者は最近の海外渡航歴がなく、現在、集中治療室に入院中です。基礎疾患(持病)があるため、呼吸器感染症にかかりやすくなっていたのかもしれないと考えられています。

最近の渡航歴がない確定患者が発生したということは、英国内で感染したことを示しています。現時点では、人から人への感染の根拠は限られています。現在の根拠に基づき、この患者は人から人に感染したことが示唆されますが、持続的に人から人に感染するリスクは非常に低いと考えられています。

英国健康保護局(HPA)は、2人の確定患者に暴露した可能性のある濃厚接触者(患者の家族と医療従事者)全員の経過観察を行っています。

2月13日現在、合計11人のNCovに感染した確定患者がWHOに報告されています。死亡者数は昨年4月以降5人であり、新たな死亡者は報告されていません。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症の監視を継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。原因不明の肺炎患者、または治療に反応しない重症、進行性、合併症のある患者には新種のコロナウイルスの検査を考慮しなければなりません。

重症急性呼吸器感染症の集団発生が起こった場合や、医療従事者で重症急性呼吸器感染症が発生した場合には、世界のどこで起こったとしても、完全に調査すべきです。

新しい患者や集団発生が起きた場合、国の保健当局とWHOの両方に速やかに報告する必要があります。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。

チャドで黄熱の患者が発生しました

2013年2月14日 WHO(GAR)

2月14日付で世界保健機関(WHO)から公表された情報によりますと、チャドで昨年12月に黄熱の確定患者が2人発生したことを受け、チャド保健省は今年2月22日から黄熱に対する緊急集団予防接種キャンペーンを実施する予定です。

2人の患者はゴズ・ベイダ(Goz Beida)地区とグエレダ(Guereda)地区から発生しており、WHOの黄熱に関する地域のレファレンス研究施設である、セネガルのダカールにあるパスツール研究所で確定診断されました。患者は、スーダンのダルフルに隣接する地域で黄熱の流行に対応するために実施された集中的なサーベイランスに続いて行われている、国の黄熱のサーベイランス計画によって確認されました。チャドでは集中的なサーベイランスにより、139人の黄熱の疑い患者と9人の死亡が報告されました。

予防接種キャンペーンは、スーダンのダルフルと国境を接する3地区(ゴズ・ベイダ、グエレダ、アドレ(Adré))で実施される予定で、地域の難民キャンプの居住者を含む100万人以上を対象

としています。

この予防接種キャンペーンは、チャド保健省、黄熱ワクチンの提供に関する国際調整グループ (YF-ICG)、GAVIアライアンスによって支援されています。

インフルエンザ - 更新179

2013年2月15日 WHO

【要約】

- ・北米のインフルエンザの活動性は、インフルエンザA(H3N2)が優勢ですが、減少し始めました。米国では、65歳以上の高齢者で肺炎の患者数とインフルエンザに関連した入院者数は増え続けました。
- ・ヨーロッパでは、大部分の国でインフルエンザの活動性が増え続けており、インフルエンザA(H1N1)pdm09が優勢です。ほとんどの国で、伝播は中等度から強く、広範囲に拡大しており、増加傾向にあると報告されました。
- ・アジアの温帯地域の全域で、インフルエンザの活動性が続いています。
- ・カリブ海、中米、南米の熱帯地域では、インフルエンザの活動性は依然として低い水準です。
- ・アフリカのほとんどの国では、インフルエンザの活動性は減少しました。
- ・南半球のインフルエンザは、依然としてシーズンオフの水準です。

【北半球の温帯地域】

- ・北米

北米では、第5週(1月27日から2月2日)におけるインフルエンザの活動性は、ほとんどの地域で変動がなかったか、または減少しました。しかし、カナダと米国では、依然として広範囲な伝播が報告されています。

カナダでは、全国の検査で確定された患者数は前週と同じ水準で、多くの地域では依然として広範囲で局地的な活動性と報告されました。国全体でのインフルエンザ様疾患(ILI)の受診率(受診者1,000人当たり)は、1月第4週の36.6から、2月第1週には53.7に増加し、この時期に予想される水準を上回っています。一方、ILIの患者から採取された検体のうち、インフルエンザウイルスが陽性となった検体の割合は先週から変動はありませんでした(22.4%)が、RSウイルスが陽性になる割合が急増しました。病院、長期療養施設、学校におけるインフルエンザの集団発生は99件の報告があり、1月第2週にピークに達した後は減少しています。学校におけるインフルエンザの集団発生の報告数は、先週に比べて増加しました。また、総合サーベイランスシステム(カナダのインフルエンザの入院患者の一部を集計するシステム)によって、3,010人のインフルエンザに関連した入院患者が報告されており、前シーズンの合計1,777人を超えています。年齢が把握できた入院患者の半数以上(57.9%)が65歳以上で、13.3%が0歳から4歳でした。シーズン当初からインフルエンザに関連した死亡は203人と報告されましたが、その83.3%(203人中169人)が65歳以上でした。シーズン当初から、予防接種監視活動(IMPACT)ネットワークによって、16歳未満のインフルエンザに関連した入院患者は542人と報告されましたが、その44.3%(542人中240人)は24か月未満でした。

2月第1週に1,511株のインフルエンザウイルスが検出されましたが、94.6%がインフルエンザA型であり、5.4%がインフルエンザB型でした。亜型が解析されたインフルエンザA型のうち、

80.5%がインフルエンザA(H3N2)で、19.5%がインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。インフルエンザB型の占める割合は、今シーズン全体の累積率に比べ、わずかに高くなりました。シーズン当初から報告された小児のインフルエンザに関連した入院患者542人のうち、95.0%(542人中515人)がインフルエンザA型に関連し、5.0%(542人中27人)がインフルエンザB型に関連していました。インフルエンザA型ウイルスのほとんど(85.4%)は亜型解析されていませんが、亜型のデータが得られたもののうち、86.7%(75人中65人)がインフルエンザA(H3N2)で、13.3%(75人中10人)はインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。一方、成人の入院患者で報告されたインフルエンザA(H1N1)pdm09の割合は5.3%(95人中5人)でした。

シーズン当初から、国立微生物学研究所で452株のインフルエンザウイルスの抗原解析が行われました。452株のうち、297株がインフルエンザA(H3N2)で、58株がインフルエンザA(H1N1)pdm09で、72株がインフルエンザB型でした。インフルエンザA(H3N2)は、すべて、ワクチン株のA/Victoria/361/2011に抗原的に類似しており、インフルエンザA(H1N1)pdm09はすべて、ワクチン株のA/California/7/2009に類似していました。インフルエンザB型ウイルスのうち、58株はワクチン株のB/Wisconsin/01/2010(山形系統)に抗原的に類似しており、14株はB/Brisbane/60/2008(ビクトリア系統で、2011年から2012年の季節性インフルエンザワクチンに含まれていた株)に類似していました。今シーズンは、これまでに、396株のインフルエンザウイルスで薬剤感受性試験が行われましたが、ノイラミニダーゼ阻害薬のオセルタミビルまたはザナミビルに対する耐性が認められた検体はありませんでした。

米国では、ほとんどの地域でインフルエンザの活動性が減少しましたが、2月第1週は、依然として高い水準です。国全体の活動性は1月第2週にピークに達したようです。国全体では、ILIの外来受診率は、昨年最終週に6.1%とピークに達した後、6週連続で減少し、3.6%でした。インフルエンザが陽性となった検体の割合も、昨年最終週の37.6%から23.3%に減少しました。インフルエンザの活動性が広範囲であると報告された州は、前回の報告では47州でしたが、2月第1週は38州でした。活動性が地域的であると報告された州は東南部が多い傾向にありました。122都市の死亡報告システムを通して報告された肺炎とインフルエンザによる全死亡の割合は、前回の報告の9.8%がピークであり、2月第1週は9.0%と若干減少しましたが、流行閾値の7.4%を上回っています。過去10年間では、2007年から2008年のシーズンで報告された9.1%が最高でした。一方、今シーズンにおいて、これまでにインフルエンザに関連した小児の死亡は59人報告されました。インフルエンザに関連した小児の死亡は、2011年から2012年のシーズン中に34人、2010年から2011年のシーズン中に122人、2009年から2010年のシーズン(パンデミック)中に282人が報告されました。シーズン当初から、検査で確定診断されたインフルエンザに関連した入院患者は8,293人と報告されました(人口10万人当たり29.8)。人口10万人当たりの入院患者の割合は依然として増加しており、既に過去3シーズンを上回りました(2011年から2012年のシーズンは8.6、2010年から2011年のシーズンは21.4、2009年から2010年のシーズンは29.0)。年齢別では、65歳以上の入院患者の割合が非常に多くなっており、人口10万人当たり134.8に達しました。2009年から2010年のシーズンは25.3、2010年から2011年のシーズンは64.0、2011年から2012年のシーズンは30.5でした。一方、他の年齢層では、入院患者の割合は例年と同様の水準でした。米国では、カナダとは対照的に、インフルエンザB型の占める割合が高くなっています。シーズン当初から検査されたインフルエンザウイルス51,129株のうち、80.2%がインフルエンザA型で、19.8%がインフルエンザB型でした。カナダでは確定されたインフルエンザウイルスのうち94.6%がインフルエンザA型ウイルスでした。シーズン当初から、疾病予防管理センター(CDC)は972株のインフルエンザウイルスの抗原解析を行いました。インフルエンザA(H1N1)pdm09の

66株は、いずれも、A/California/7/2009-likeで、インフルエンザA(H3N2)の99.7%(608株中606株)は、A/Victoria/361/2011-likeでした。いずれも、北半球で今シーズンに使用されている3価の季節性インフルエンザワクチンに含まれるものです。解析された298株のインフルエンザB型ウイルスのうち、70.8%(298株中211株)は今シーズンに使用されている3価の季節性インフルエンザワクチンに含まれるB/Wisconsin/1/2010-like(山形系統)であり、29.2%(298株中87株)はビクトリア系統でした。

シーズン当初から検査された、1,001株のインフルエンザA(H3N2)、298株のインフルエンザB型ウイルスでは、ノイラミニダーゼ阻害薬であるオセルタミビルとザナミビルに対する耐性は認められませんでした。インフルエンザA(H1N1)pdm09は184株が検査され、1月第3週にオセルタミビル耐性株が1株報告されました。

・ヨーロッパ

ヨーロッパでは、大部分の国で、インフルエンザの活動性は増加し続けましたが、数か国で減少したと報告されました。前回の報告と同様に、ほとんどの国で、伝播は中等度から強く、広範囲に拡大しており、22か国ではインフルエンザの活動性が増加傾向にあると報告されました。ベルギー、ドイツ、ルクセンブルク、スウェーデンでは伝播が強く、19か国では伝播は中等度、4か国(ポーランド、英国など)では伝播は低いと報告されました。今シーズンは、数か国(ノルウェー、ポーランド、英国など)で、早期に臨床的な活動性のピークに達したようですが、数か国(デンマーク、ギリシャ、アイルランド、ルクセンブルク)でILIの受診率が再度増加しました。

インフルエンザウイルスの流行は、依然として、地域の中で異なっており、2週前の報告と同様でした。インフルエンザA型のうち、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09が優勢と報告されたのは、北部、東部、中部で、オーストリア、チェコ、ドイツ、ロシアなどです。一方、インフルエンザB型が優勢と報告されたのは、南部と西部の数か国で、フランス、アイルランド、イタリア、スペイン、英国などです。これらの地域に挟まれた地域ではインフルエンザA(H1N1)pdm09、インフルエンザA(H3N2)、インフルエンザB型が同時に流行していると報告されました。

定点機関で採取された検体でインフルエンザが陽性となった検体の割合は、今シーズンで最も高い水準に増加しました。3週連続で増加し、約40%から52%(2,949検体中1,541検体)になりました。インフルエンザが陽性であった重症急性呼吸器感染症(SARI)の入院患者の割合も増加し続けており、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09が検出されました。定点の病院では、検査で陽性になる割合は増加していますが、入院患者数は増加していないようです。ヨーロッパの定点機関のデータでは、ILIや急性呼吸器感染症(ARI)患者の検体から検出されるウイルスの割合と入院患者の検体から検出されるウイルスの割合は同様です。報告された患者のほとんどが0歳から4歳の小児でした。ヨーロッパ死亡率監視プロジェクトに参加している13か国から報告された全死亡者数は過去の平均値に近い数でした。しかし、16か国のうち、デンマークと英国(スコットランドとイングランド)の2か国では、65歳以上の死亡率が増加しました。

今シーズンは、インフルエンザウイルスのうち70%(30,119株中21,097株)がインフルエンザA型で、30%(30,119株中9,022株)がインフルエンザB型でした。亜型が解析されたインフルエンザA型のうち、71%(13,107株中9,355株)がインフルエンザA(H1N1)pdm09で、29%(13,107株中3,752株)がインフルエンザA(H3N2)でした。インフルエンザA(H1N1)pdm09の占める割合は、過去2週間以上にわたって増加しました。シーズン当初から、解析されたウイルスの大部分は、現在の北半球で使用されている季節性インフルエンザワクチンに含まれるウイルス株と抗原的に類似していました。

シーズン当初から、278株のウイルスに対してノイラミニダーゼ阻害薬の感受性検査が行われましたが、オセルタミビルに耐性のあるインフルエンザA(H1N1)ウイルスが1株のみ検出されました。その他のウイルスはすべて感受性がありました。

・ アフリカ北部

アフリカ北部における、陽性検体数は、過去数週間にわたって、小さな変動を示しながら減少し続けました。しかし、アルジェリアやチュニジアなどの数か国では、過去数週間で報告されたインフルエンザの陽性検体の割合が増加しました。インフルエンザA型(H1とH3)とインフルエンザB型がともに流行していますが、若干、A(H1N1)pdm09が優勢です。

・ 西アジア

西アジアでは、特にトルコとグルジアで、インフルエンザが明らかに増加しました。しかし、エジプトやヨルダンなど、数か国では減少傾向にあると報告されました。地域によって、優勢なウイルスの亜型は異なっており、グルジアやトルコなど北部の国ではインフルエンザA(H1N1)pdm09が非常に優勢ですが、エジプトやヨルダンなど、他の国ではインフルエンザA(H3N2)やインフルエンザB型が多く報告されました。この相対的な傾向は、エジプトやトルコなどでは先週と同様ですが、バーレーンとヨルダンでは、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型の割合が変化しました。

・ 中央アジア

中央アジアにおけるインフルエンザの活動性は、カザフスタン、キルギス、ウズベキスタンなどで、過去数週間にわたって若干増加しました。カザフスタンではインフルエンザA(H3N2)が優勢と報告されており、ウズベキスタンではインフルエンザB型とインフルエンザA(H3)がともに優勢で、キルギスではインフルエンザB型とインフルエンザA(H1N1)pdm09がともに優勢と報告されました。

・ アジアの温帯地域

アジアの温帯地域の全域で、インフルエンザの活動性が続いています。中国北部では、1月の最終週におけるILIの受診率は3.5%で変化がなく、過去6年間に見られた範囲内にあります。モンゴルでは、同時期に、インフルエンザの活動性を検出する指標が増加し、インフルエンザの活動性は増加傾向を示しました。

中国では、南部も北部もインフルエンザA(H1N1)pdm09の割合が増加し、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型の占める割合を超えました。1月の最終週にインフルエンザの検査が行われた検体のうち23.2%(2,342検体中543検体)がインフルエンザ陽性であり、インフルエンザが陽性となった検体のうち98.5%(543検体中535検体)がインフルエンザA型でした。1月の最終週に検査で陽性となった割合は、北部で31.8%、南部で14.5%であり、いずれも先週より若干増加しました。

1月の最終週に中国国家インフルエンザセンターで亜型が解析されたインフルエンザウイルスのうち、インフルエンザA(H1N1)pdm09はすべてA/California/7/2009-likeで、インフルエンザA(H3N2)はすべてA/Victoria/361/2011(H3N2)-likeでした。また、インフルエンザB/VictoriaはすべてB/Brisbane/60/2008-like、B/YamagataはすべてB/Wisconsin/01/2010-likeでした。検査されたインフルエンザ検体でノイラミニダーゼ阻害薬であるオセルタミビルとザナミビルに耐性のある

ものはありませんでした。香港でも同様の傾向が見られましたが、オセルタミビルに耐性を示すインフルエンザA(H1N1) pdm09が散発的に1株分離されました。

韓国におけるインフルエンザの活動性は増加し続けており、インフルエンザA(H3N2)とA(H1N1) pdm09が検出されました。日本でのインフルエンザの活動性は1月第2週に急増しましたが、その後は徐々に減少しており、優勢な亜型はインフルエンザA(H3N2)です。

【熱帯地域】

・ アメリカ大陸の熱帯地域

中米とカリブ海では、インフルエンザの活動性は前週と比較し、ほぼ同じか減少し、晩夏のピークから減少し続けました。全体的には、ILIとARIの患者はほとんどがインフルエンザではない疾患と報告されており、RSウイルスとライノウイルスが最も多く検出されています。インフルエンザの伝播を報告している国では、低い水準で、インフルエンザA(H1N1) pdm09、インフルエンザA(H3N2)、B型がともに伝播しています。

・ 中部アフリカ

中部アフリカのほとんどの国ではインフルエンザの検出は減少しました。以前にコンゴ民主共和国とガーナで循環していたインフルエンザA(H1N1) pdm09は、現在シーズンオフの水準まで減少しました。カメルーンとマダガスカルでは、依然として、インフルエンザB型が低い水準で報告されました。ガーナとタンザニアではインフルエンザB型が若干増加したと報告されました。

・ アジアの熱帯地域

東南アジアのほとんどの国では、インフルエンザの活動性は前週と同様でした。カンボジア、インド、スリランカ、タイ、ベトナムでは若干減少し、低い水準での循環が続いています。イランでは前回の報告以降、インフルエンザの活動性が穏やかに減少しました。

インドではインフルエンザA(H1N1) pdm09とインフルエンザB型が優勢ですが、スリランカでは、依然として、3種類の型・亜型が循環しています。カンボジア、タイ、ベトナムなど東南部の国では、インフルエンザB型とインフルエンザA(H3N2)がともに優勢です。特に、タイでは、インフルエンザB型とともにインフルエンザA(H1N1) pdm09が循環していた約12週から15週前とは対照的です。

シンガポールのインフルエンザの活動性は、依然として、シーズンの閾値より低い水準で、3種類の型・亜型が循環しています。

【南半球の温帯地域】

南半球の温帯地域のすべての国で、現在、インフルエンザの活動性は、シーズンオフの水準です。

カンボジア、エジプト、中国で鳥インフルエンザの患者が発生しました

2013年2月15日 WHO(GAR)

2003年から2013年2月15日までに、鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスに感染したと確定診断された患者は、15か国から620人が世界保健機関(WHO)へ公式に報告されています。このうち367人が死亡しています。1月16日以降、10人が報告されています。

1月16日以降、カンボジアで6人の死亡を含む鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスに感染した患者7人が報告されました。患者はカンボジア南部に位置する4州で発生しました。これらの患者に疫学的な関連はないようです。また、ほとんどの患者が村で病気の家きんと接触がありました。調査が強化されていますが、患者に関連した新たな症例は発見されていません。現時点では、人から人への感染を示す根拠はありません。カンボジアでは家きんの間でA(H5N1)ウイルスが常在しており、旧正月で人や家きんの移動が多くなったことが示唆されています。そのため、今後も散発的な患者が発生するかもしれません。

エジプトでは、ブハイラ県で新たな鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスに感染した患者1人が報告されました。エジプトでも家きんのA(H5N1)ウイルスが常在している地域があるため、さらに散発的な患者が発生する可能性があります。

中国では、2月10日に新たな鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスに感染した患者2人が報告されました。患者は2人とも重篤な状態が続いています。患者は同じ省から発生しましたが、疫学的な関連はないようです。2人とも病気の家きんや死んだ家きんと接触はないと報告されています。接触者の追跡調査や経過観察が続けられていますが、新たな患者は確認されていません。中国本土で家きんのA(H5N1)の公式報告は、2012年9月の広東省からの報告が最後でした。

家きんの間でインフルエンザウイルスが循環している時は、特に家屋で飼育している家きんが感染し、その家きんに暴露する人々の中で散発例や小規模の集団発生が起こる可能性があります。しかし現在のところ、このH5N1ウイルスは人の間で効率よく感染せず、このウイルスが地域レベルで拡大するレベルは低いままです。

新種のコロナウイルス感染症について(更新2)

2013年2月16日 WHO(GAR)

2月16日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、英国で新種のコロナウイルス(NCoV)に感染した確定患者1名が新たに報告されました。英国で確認された患者は今月で3人となり、この患者は最近確定された2人の患者の親族です。

この患者は最近の英国外への渡航歴はなく、軽度の呼吸器疾患から回復し、現在は健康です。

最近の渡航歴がない確定患者が発生したということは、英国内で感染したことを示しています。この新たな患者によって、更に人から人への感染が示唆されましたが、持続的な人から人への感染は確認されていません。

英国健康保護局(HPA)は、最近確定された患者に暴露した可能性のある濃厚接触者全員の経過観察を行っています。

2月16日現在、5人の死亡を含む合計12人のNCovに感染した確定患者がWHOに報告されています。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症の監視を継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。原因不明の肺炎患者、または治療に反応しない重症、進行性、合併症のある患者には新種のコロナウイルスの検査を考慮しなければなりません。

重症急性呼吸器感染症の集団発生が起こった場合や、医療従事者で重症急性呼吸器感染症が発生した場合には、世界のどこで起こったとしても、完全に調査すべきです。

新しい患者や集団発生が起きた場合、国の保健当局とWHOの両方に速やかに報告すべきです。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。



感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。



読者のコーナー

Q : 風疹発症後の妊娠について質問です。

いろいろなホームページで風疹が流行しているのを知りました。妊娠を希望する抗体の低い女性は予防接種を、という内容を拝見します。また同様に予防接種後は2カ月程避妊をして下さい、と拝見します。

そこで質問ですが、実際に風疹を発症してしまった後の妊娠について、1週間から2週間くらいで完治すると思うのですが、予防接種ではなく実際の風疹に感染した後は完治すれば特にすぐ妊娠しても問題は無いのでしょうか。どのサイトも予防接種後の記載しかないので教えてくださいいただければと思います。

風疹発症後の妊娠について

風疹に罹った後の妊娠についてのご質問は、これまであまり多くありませんでした。

風疹ウイルスに感染しますと、一旦体の中で風疹ウイルスが増えます。増えたウイルスは血液を介して全身に広がり、2～3週間の潜伏期(感染してから症状が出るまでの何も症状がない期間)を経て、発病します。発熱、発疹、リンパ節の腫れが主な症状ですが、すべての症状がそろわないこともあります。症状が出ない場合もあり、これを不顕性感染と呼びます。そのため、症状のみから風疹と診断することはとても難しい病気です。

風疹を発病してそれが治ってしまいますと、体の中に風疹ウイルスに対する免疫ができあがります。免疫ができあがりますと、体の中から風疹ウイルスはいなくなってしまう。健康な方であれば、治ってから1カ月以上過ぎればまず体の中に風疹ウイルスはいなくなっていると思って大丈夫ではないかと思えます。

先天性風疹症候群は、妊娠初期の妊婦さんの血液中にある風疹ウイルスが胎内の赤ちゃんにも感染して起こる病気です。体の中に免疫がしっかりできあがっていれば、血液中で風疹ウイルスが増えることもありませんので、胎内の赤ちゃんに感染することはありません。風疹を発病して、治ってからの妊娠については、こういった理由から心配は要らないことになります。お母さんの体の中にできあがった免疫(抗体)は、妊娠の後期に胎盤を通して胎児に移行します(移行抗体と呼びます)。そのため、お母さんがしっかり抗体を持っていれば、出生直後の赤ちゃんもしっかり抗体を持って生まれてきます。出生後約6カ月程度は赤ちゃんも風疹に罹らずに予防できることになります。お腹の中の赤ちゃんに生まれる前からの免疫というプレゼントになります。

風疹に罹ったことがない人がワクチンを接種すると、妊娠中にしっかり免疫をもつので、妊婦さん自身の予防にも繋がり、胎内の赤ちゃんの予防にも繋がり、更には、生まれてしばらくの間、赤ちゃんにお母さんからの免疫が残ることから、ワクチンを受けていない赤ちゃんであっても生後半年くらいはその病気から守られるということになります。ワクチン接種後2カ月の避妊期間をお願いしているのは、風疹含有ワクチン(麻疹風疹混合ワクチンで受ける人が多いと思えます)は、生ワクチンの種類に分類されますので、接種後は一旦、体の中でワクチン用に弱められた風疹ウイルスが増えます。その時に妊娠していると胎内の赤ちゃんに感染する可能性があるから、2カ月間の避妊をお願いしています。なお、妊娠していることに気づかずにワクチンを接種してしまった方から先天性風疹症候群の赤ちゃんが生まれたという報告はこれまでにありませんが、理論的なリスクを考えて、妊娠していない時にワクチンを接種した場合、その後2カ月間の避妊をお願いしています。

なお、風疹と書いていてもそうではないよく似た別の病気という場合がよくありますので、風

疹かどうかの診断は必ず血液検査などで、体の中に抗体ができあがっているのを確認していただきたいと思います。

(国立感染症研究所感染症情報センター)

Q：家庭で先天性風疹症候群の児をケアするうえで、感染対策上気をつけることを教えてください。

家庭における先天性風疹症候群の児のケアについて

先天性風疹症候群の赤ちゃんの鼻、のど、尿からは、数カ月をわたって風疹ウイルスが排泄されていることがあります。風疹に対する免疫がない人が周りにいると、鼻水、よだれなどの分泌物や尿に含まれている風疹ウイルスが感染(接触感染)してしまう可能性があります。そのため、1歳になるまでの間、もしくは、咽頭ぬぐい液や尿の検査によって2回連続して風疹ウイルスが検出されないことが確認されるまでは、接触感染予防に注意してください¹⁾。

具体的には、

まず先天性風疹症候群の赤ちゃんと一緒に住む家族に、風疹の罹患歴がなく、かつ、風疹の予防接種を受けたことがない人がいないか確認しましょう。どちらもはっきりしない場合には風疹の予防接種を受けておくことが勧められます。

そのうえで、赤ちゃんの鼻水やよだれをふき取ったあとや、おむつを交換したあとなどには、よく手を洗うことが大切です。これは、先天性風疹症候群の赤ちゃんをケアした方から周囲への感染を防ぐ意味でも重要なことです。

おむつの処理については、特別に消毒などをする必要はありません。紙おむつは自治体の分別に従って廃棄してください。

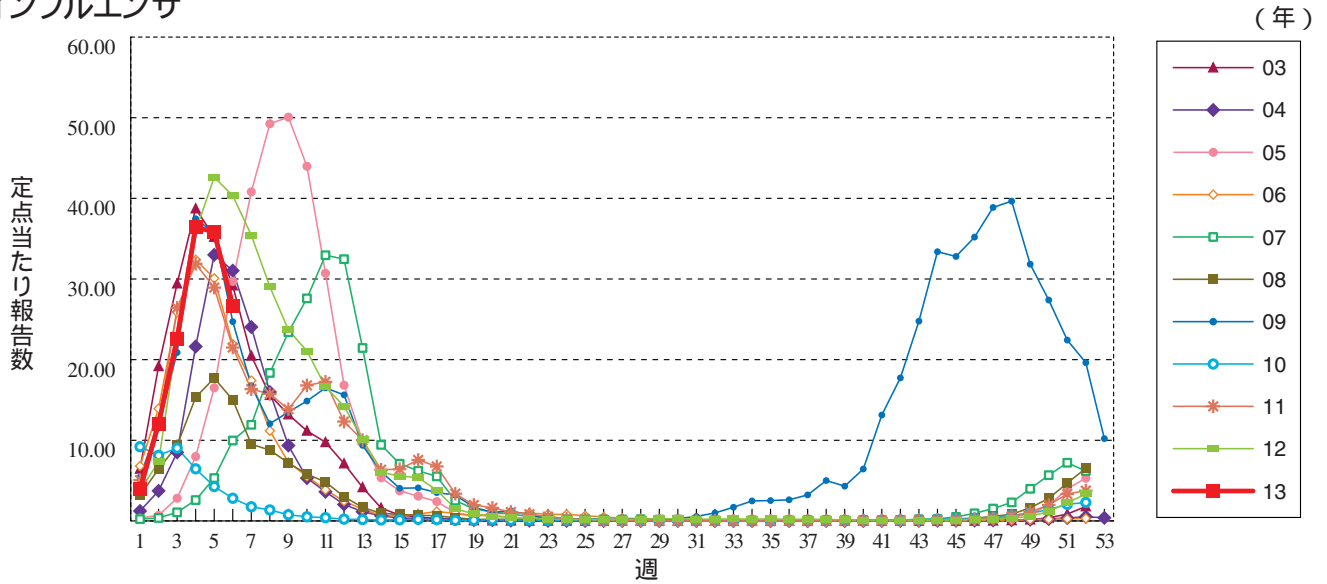
また、風疹ウイルスを排出している期間に乳児健診や医療機関を受診する際には、あらかじめ保健所や医療機関に連絡し相談の上、受診されるとよいでしょう。

文献：1) Control of Communicable Diseases Manual 19 Ed. p533

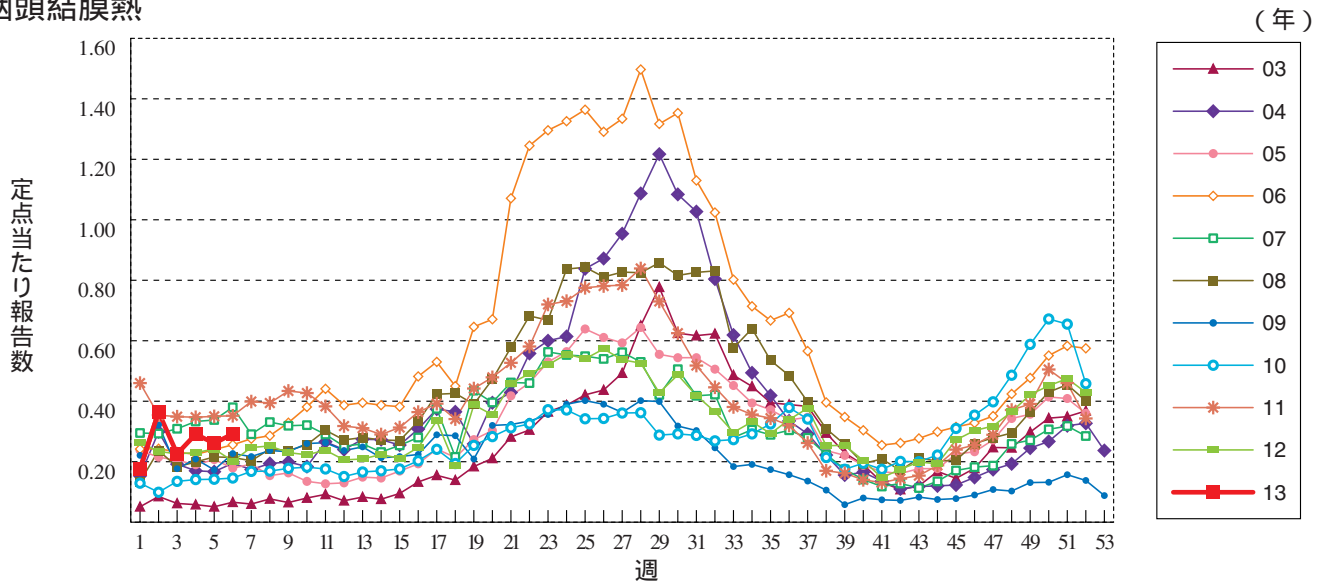
(国立感染症研究所感染症情報センター)

グラフ総覧(6週)

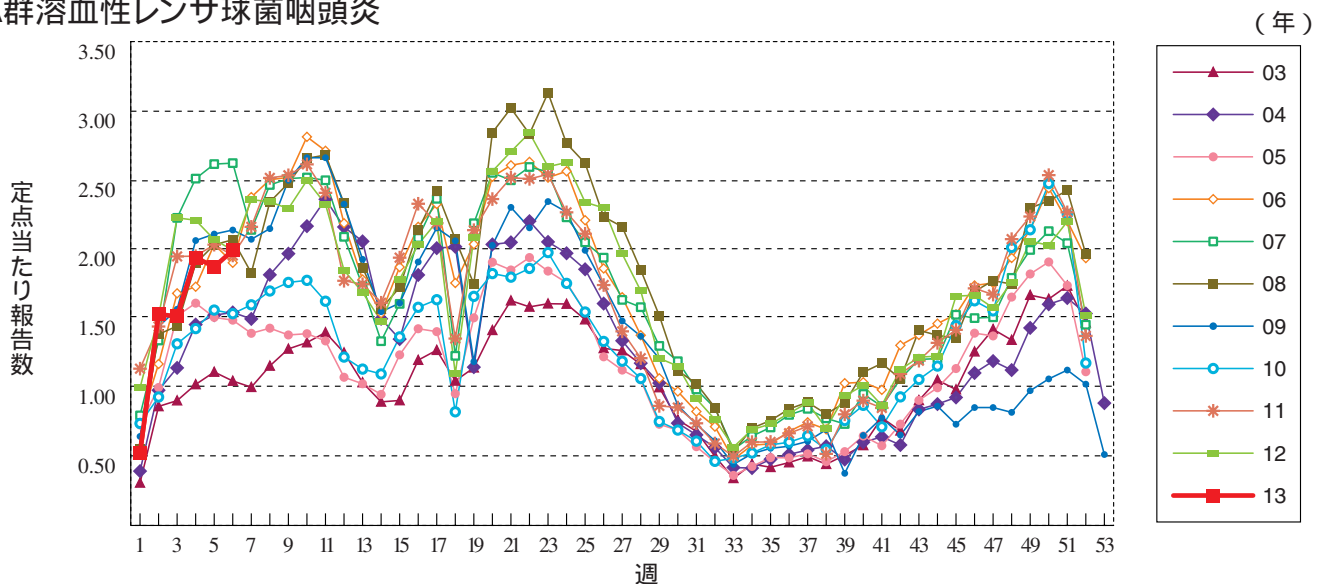
インフルエンザ



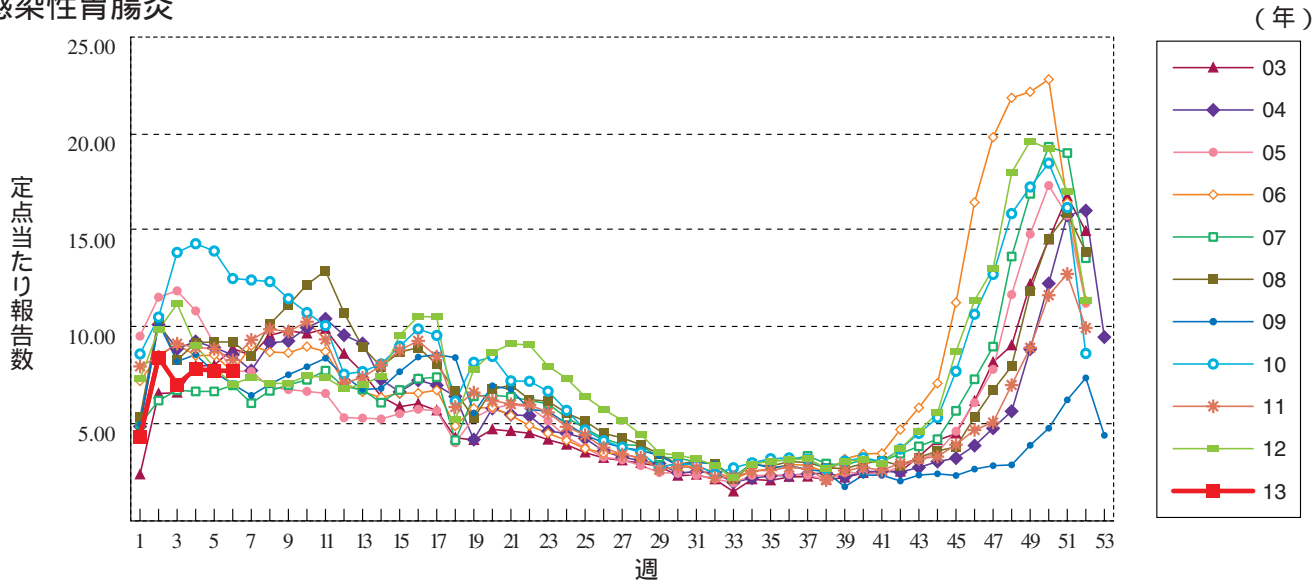
咽頭結膜熱



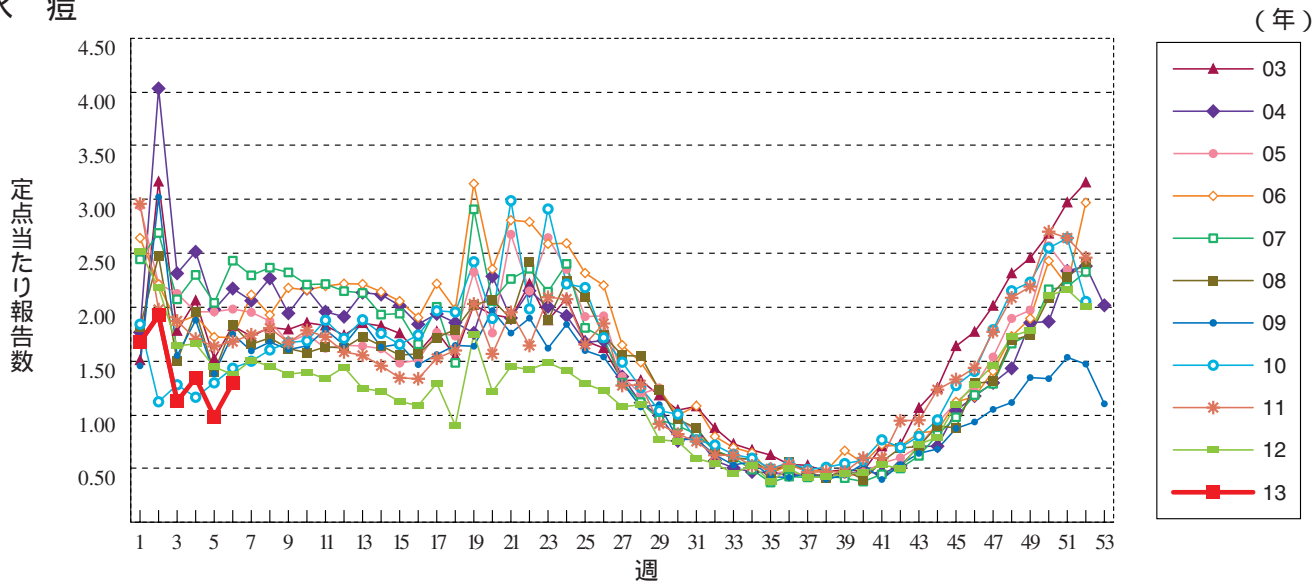
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



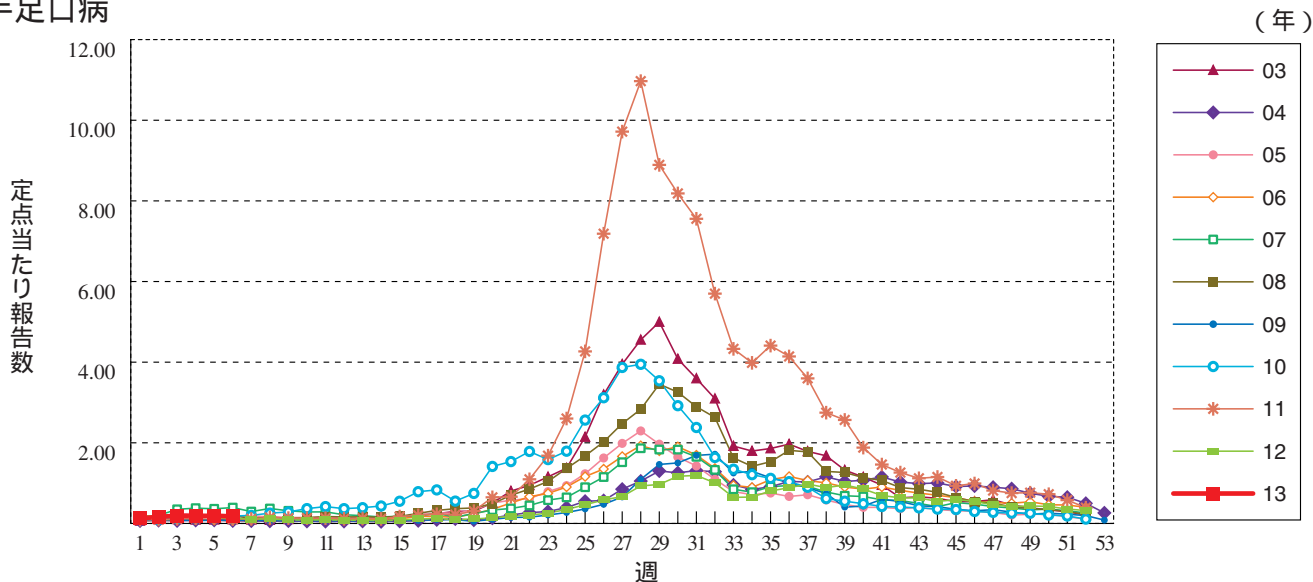
感染性胃腸炎



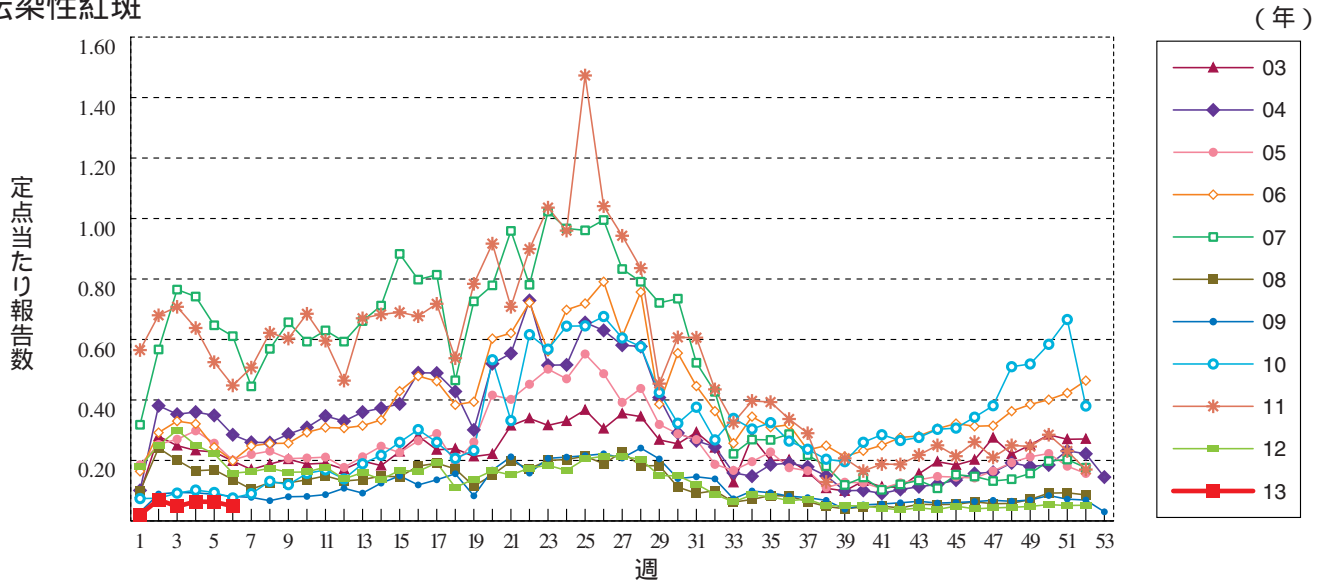
水痘



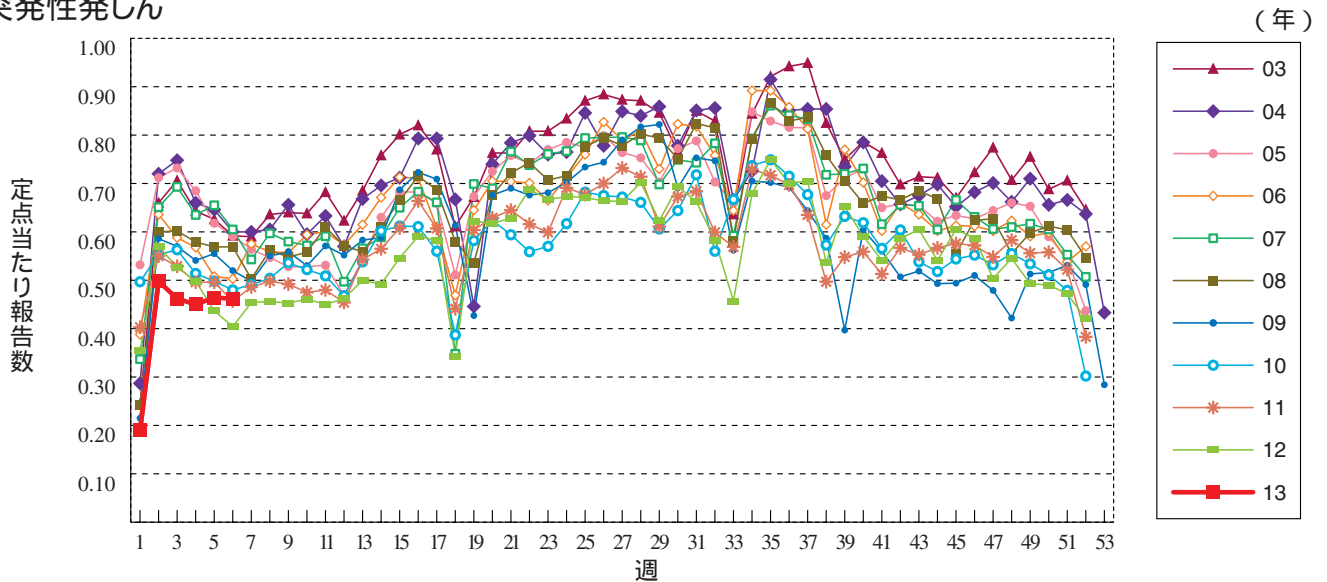
手足口病



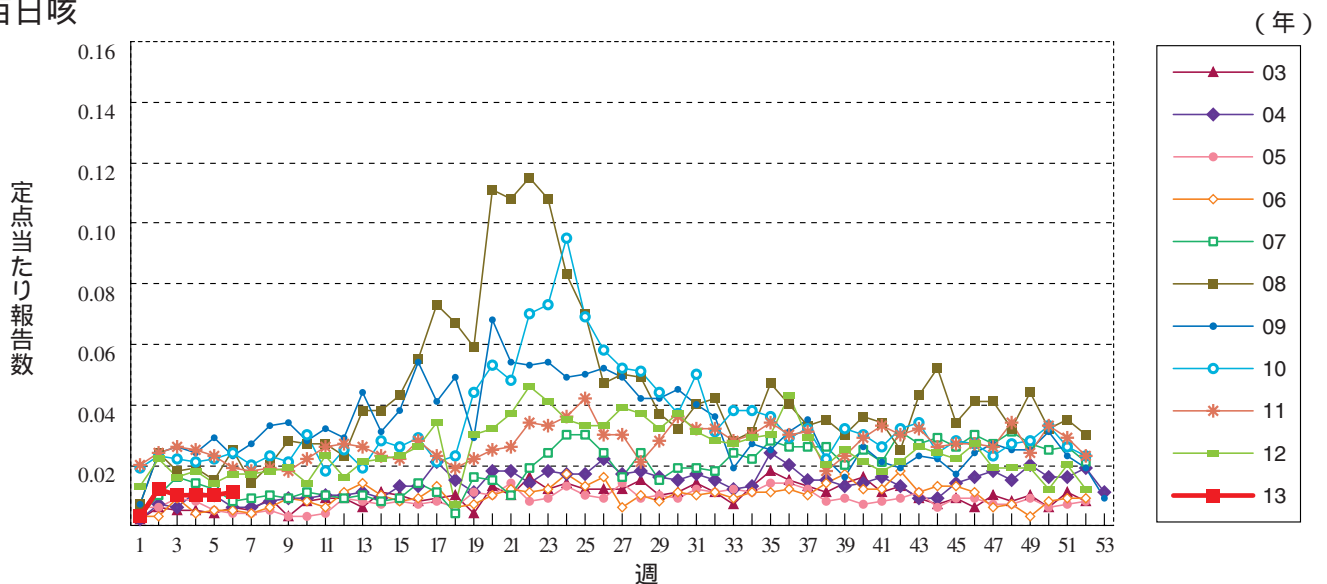
伝染性紅斑



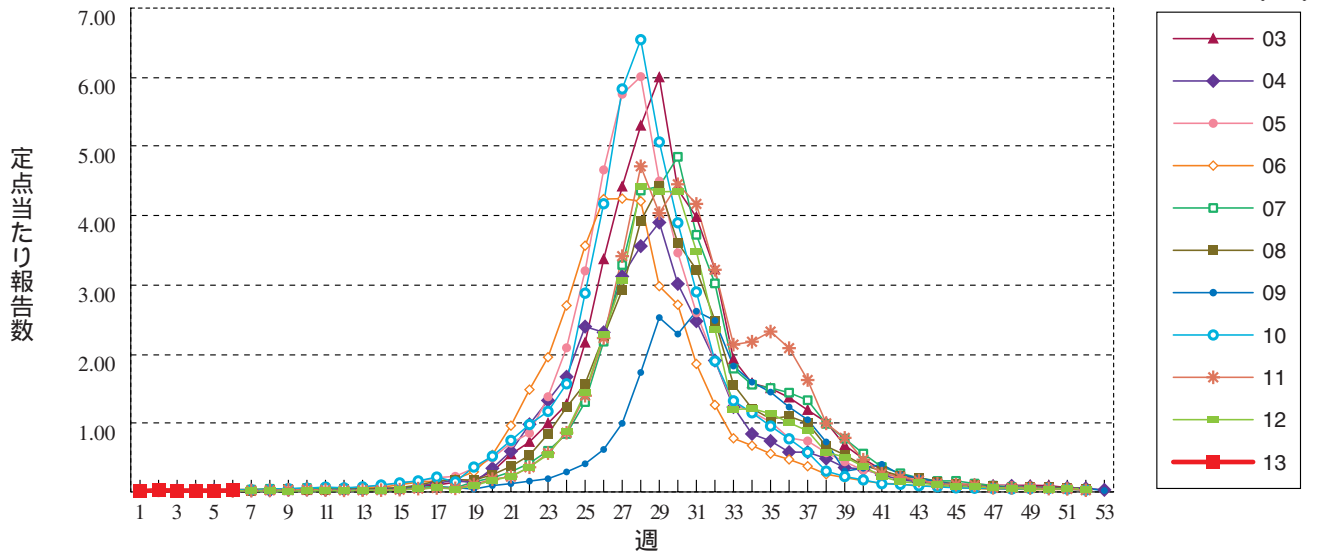
突発性発しん



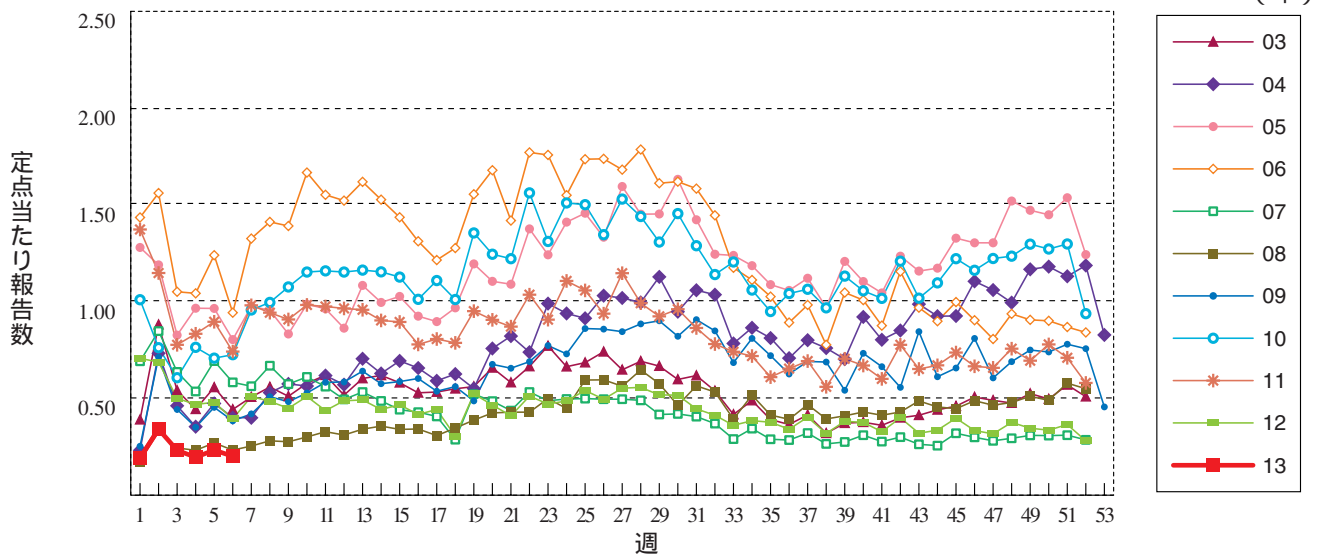
百日咳



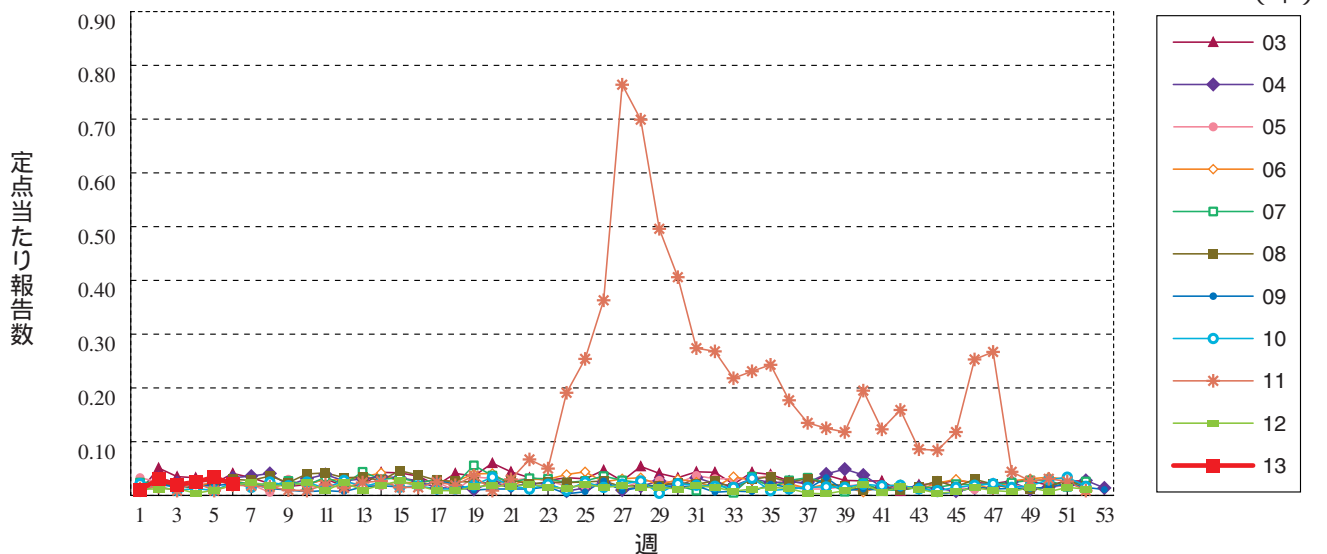
ヘルパンギーナ



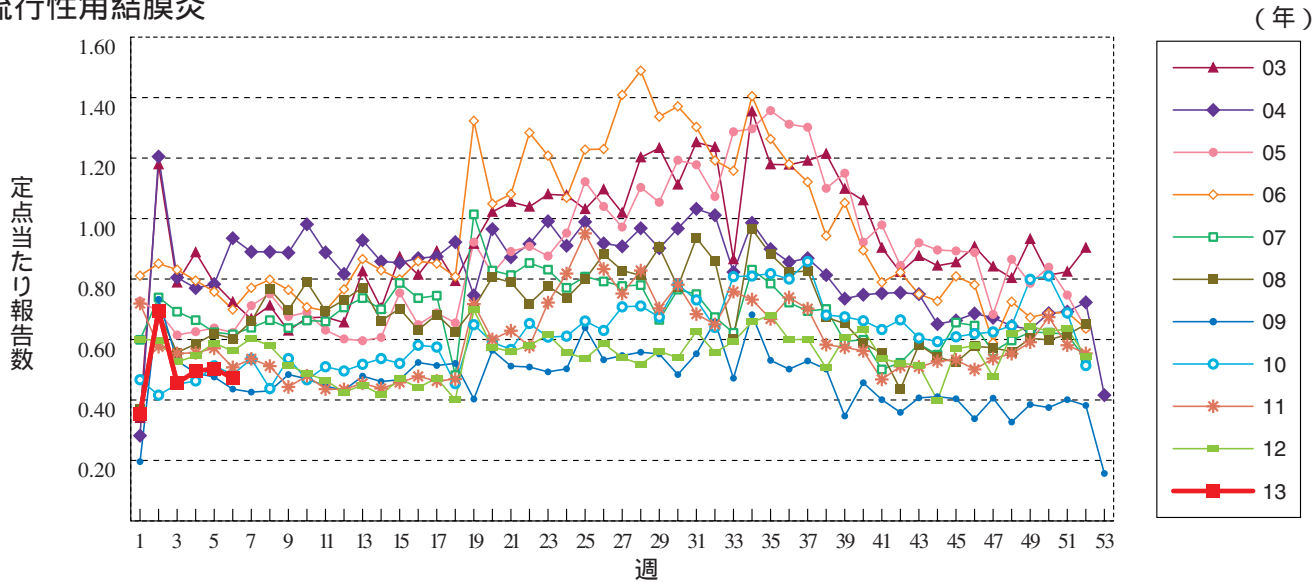
流行性耳下腺炎



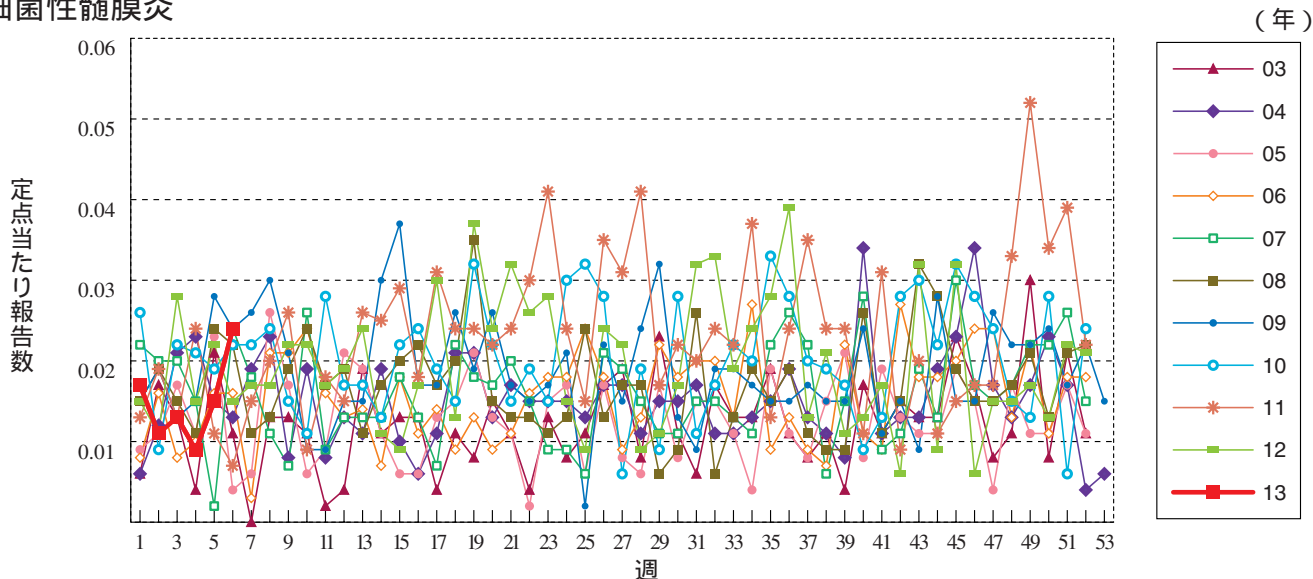
急性出血性結膜炎



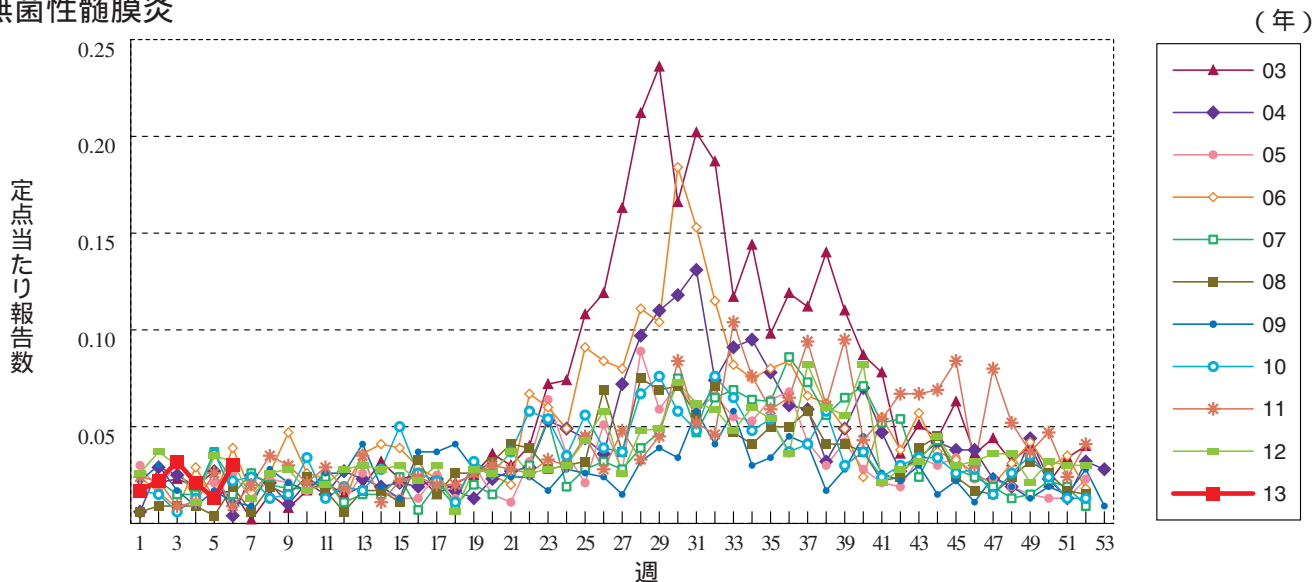
流行性角結膜炎



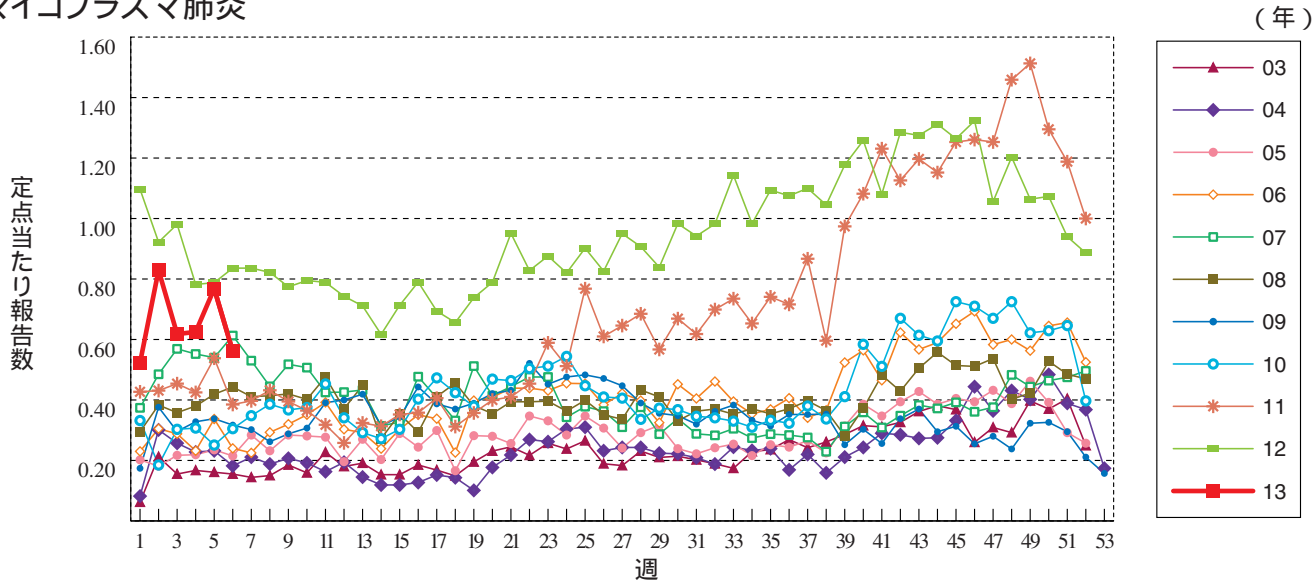
細菌性髄膜炎



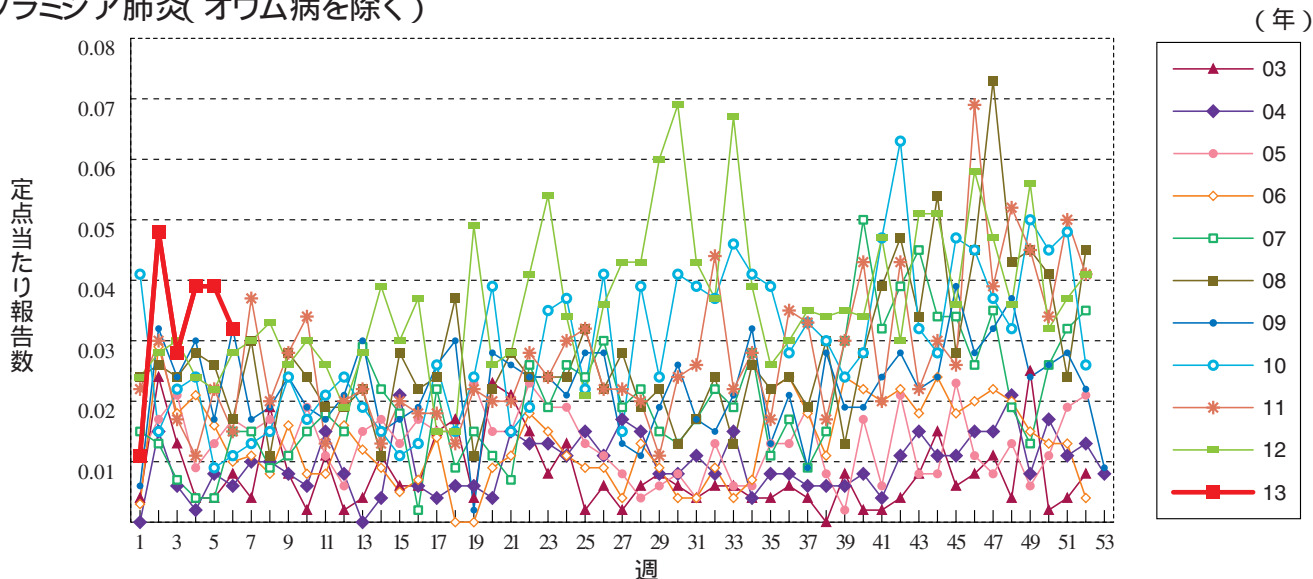
無菌性髄膜炎



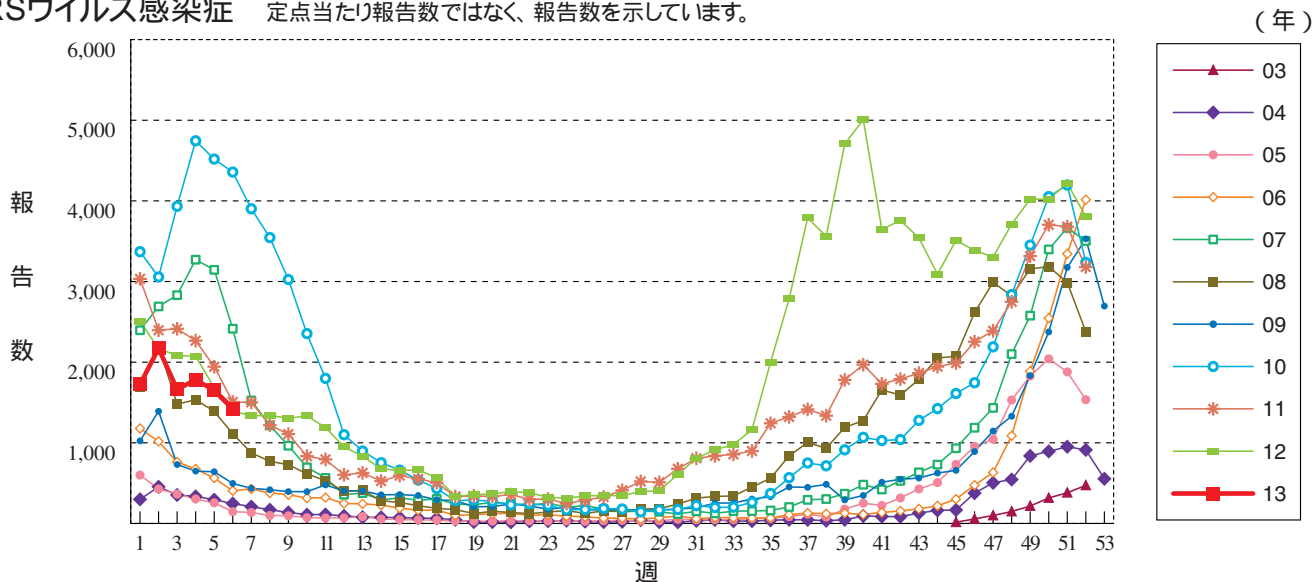
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



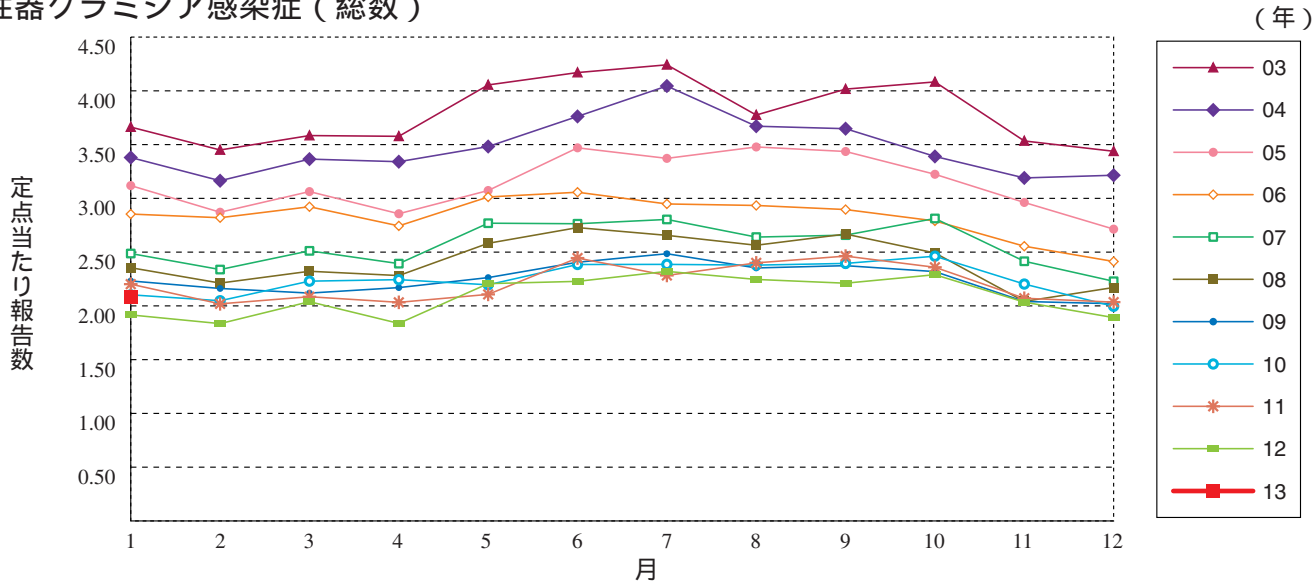
RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。



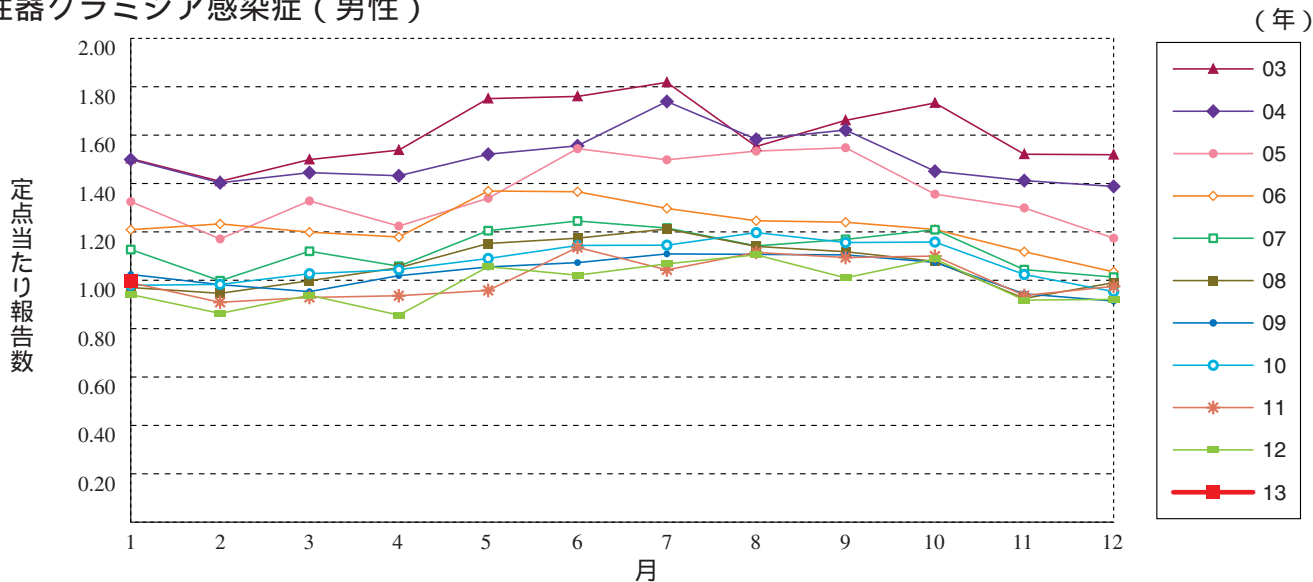


グラフ総覧(1月)

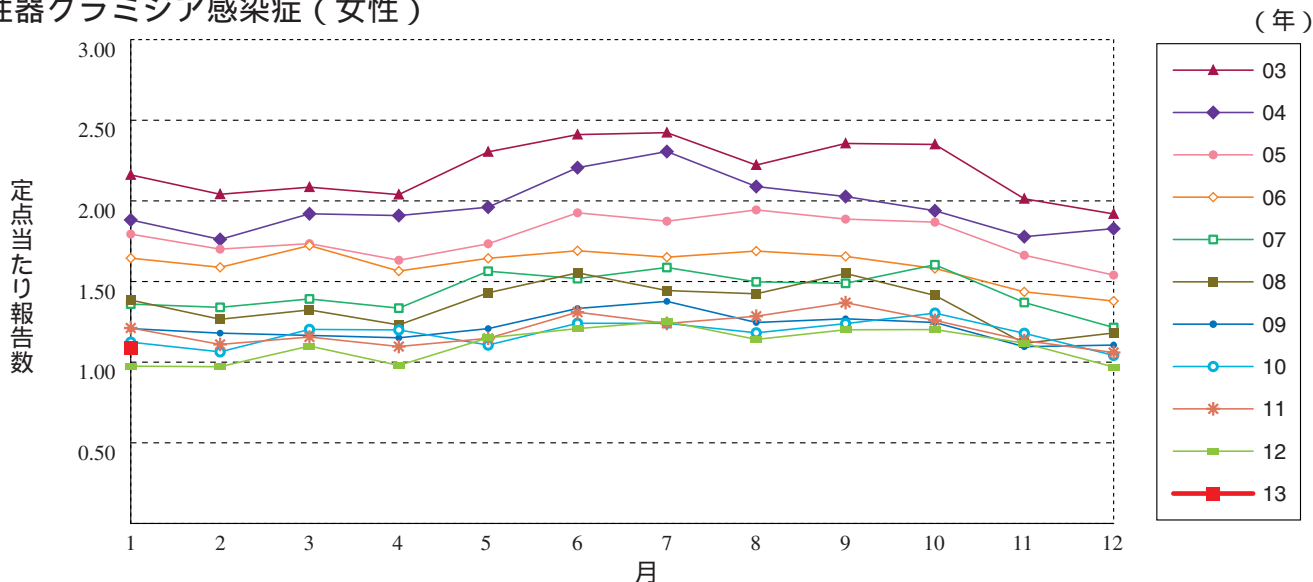
性器クラミジア感染症(総数)



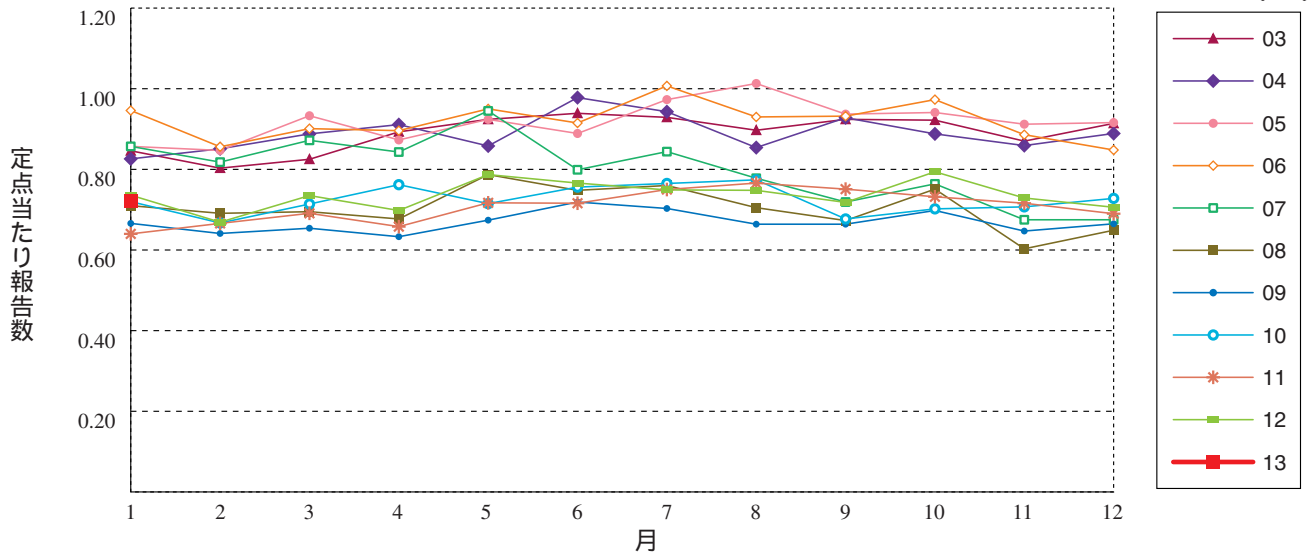
性器クラミジア感染症(男性)



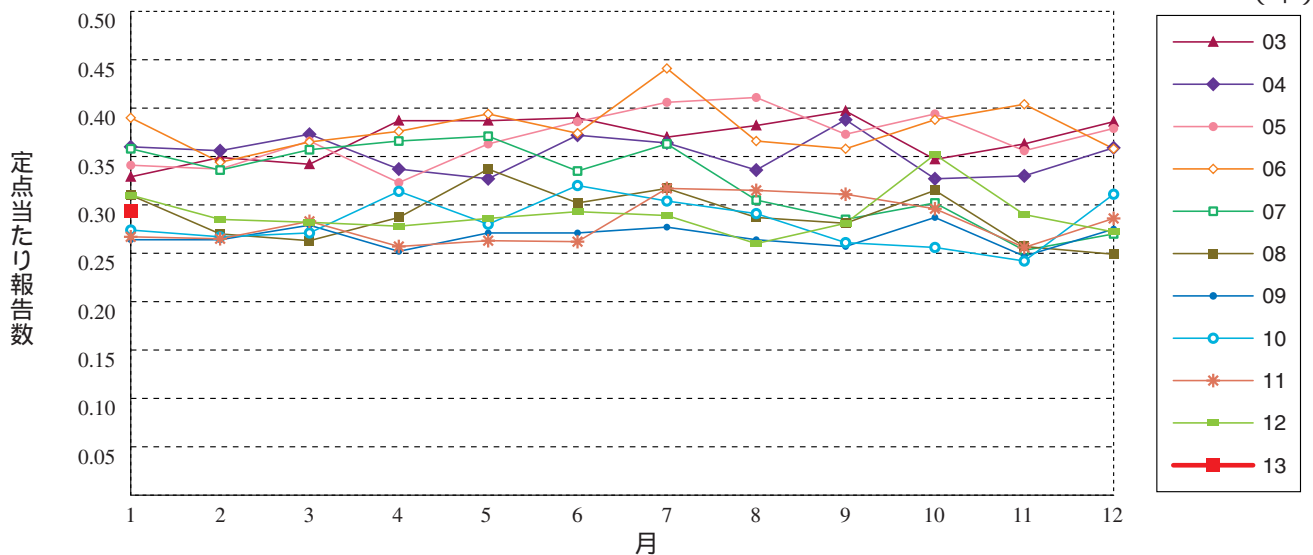
性器クラミジア感染症(女性)



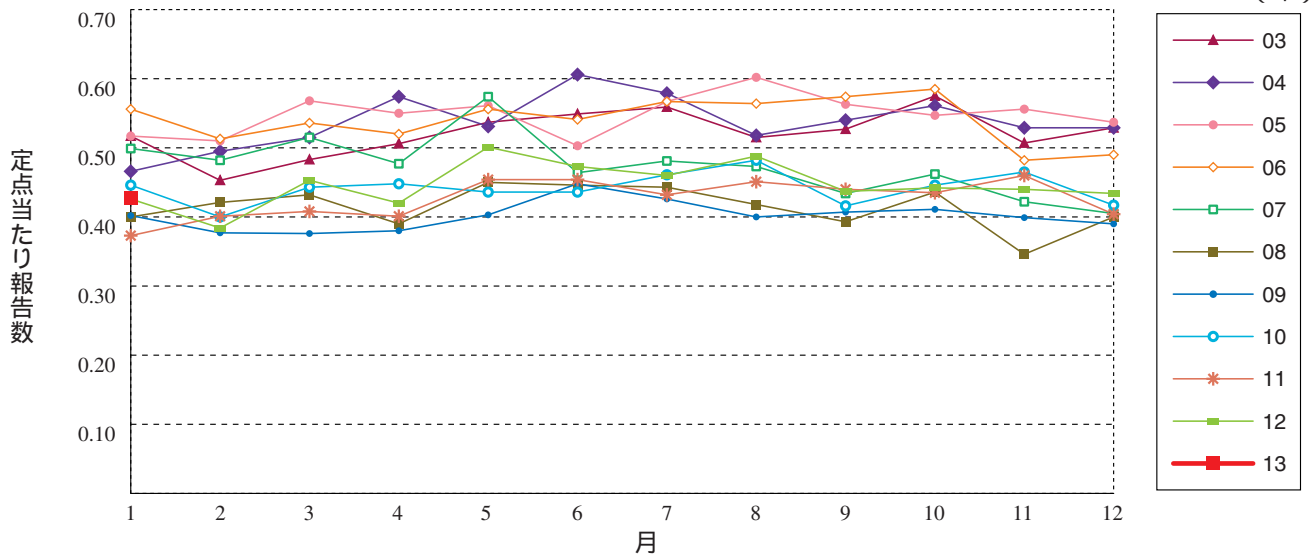
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



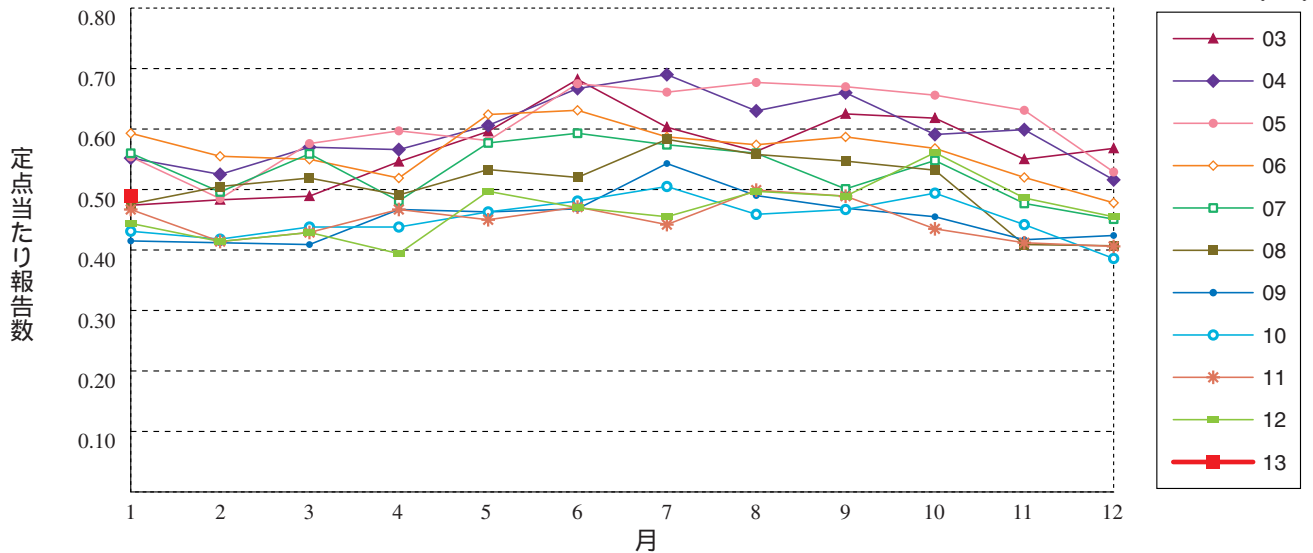
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



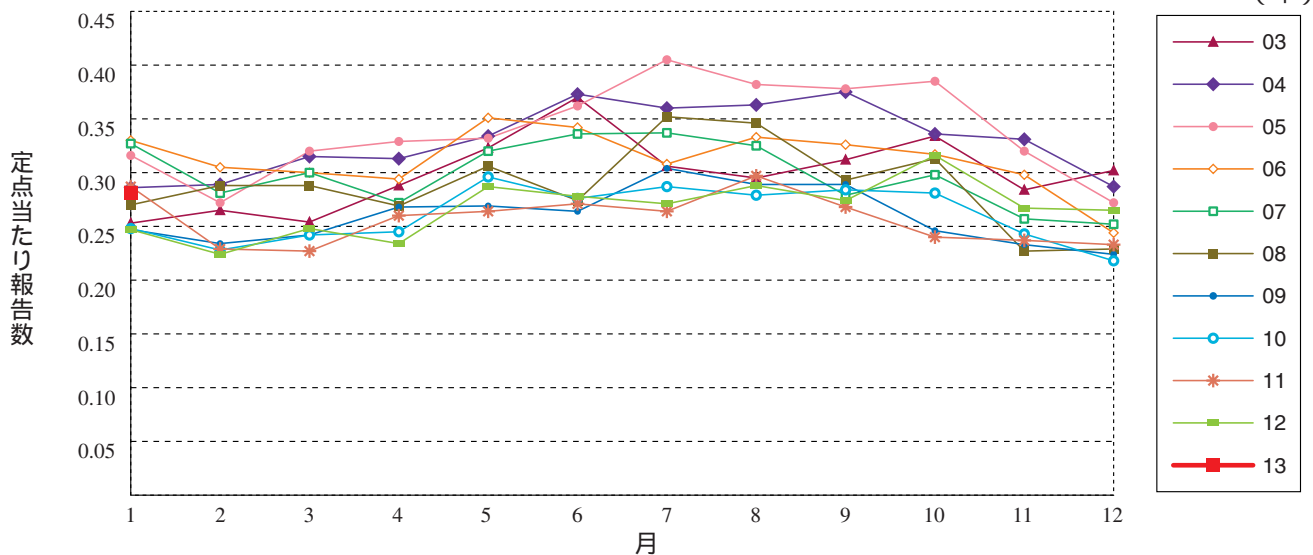
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



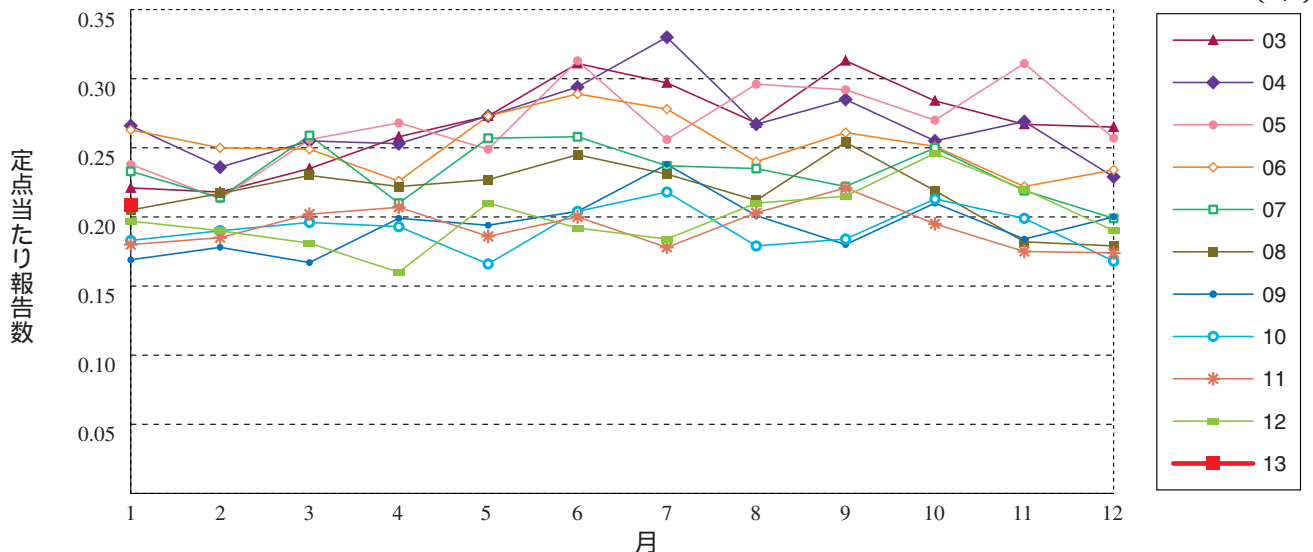
尖圭コンジローマ (総数)



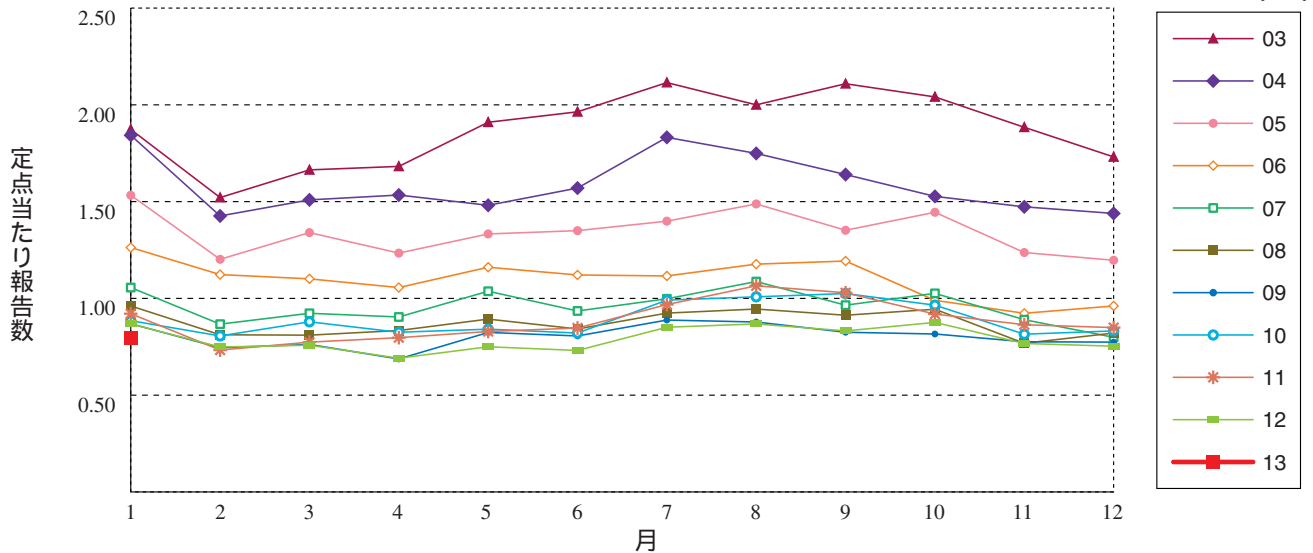
尖圭コンジローマ (男性)



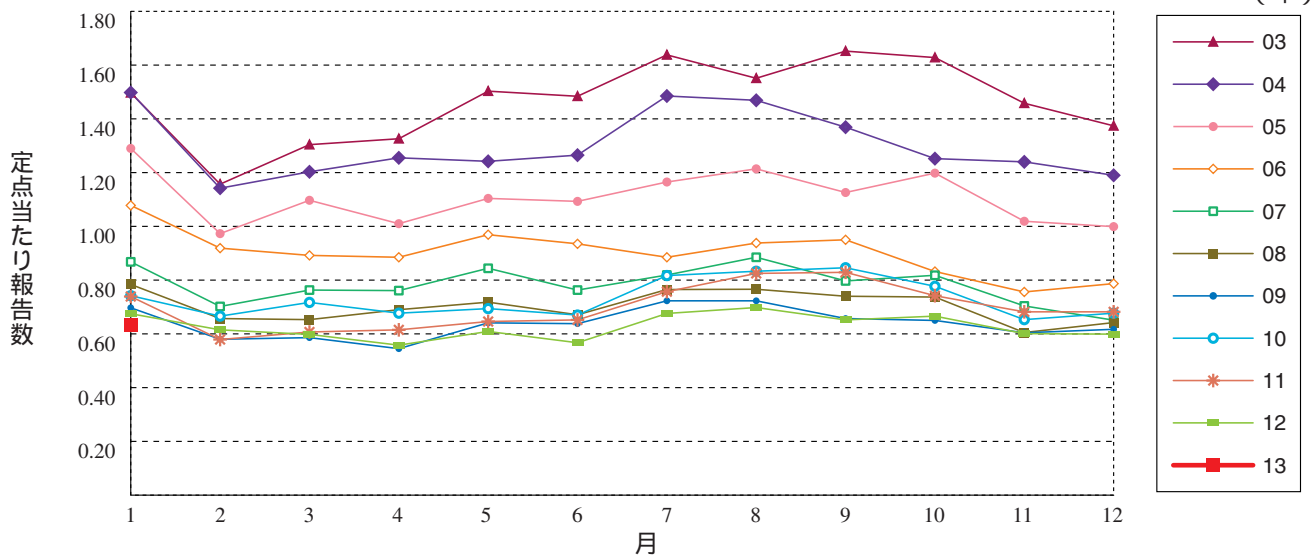
尖圭コンジローマ (女性)



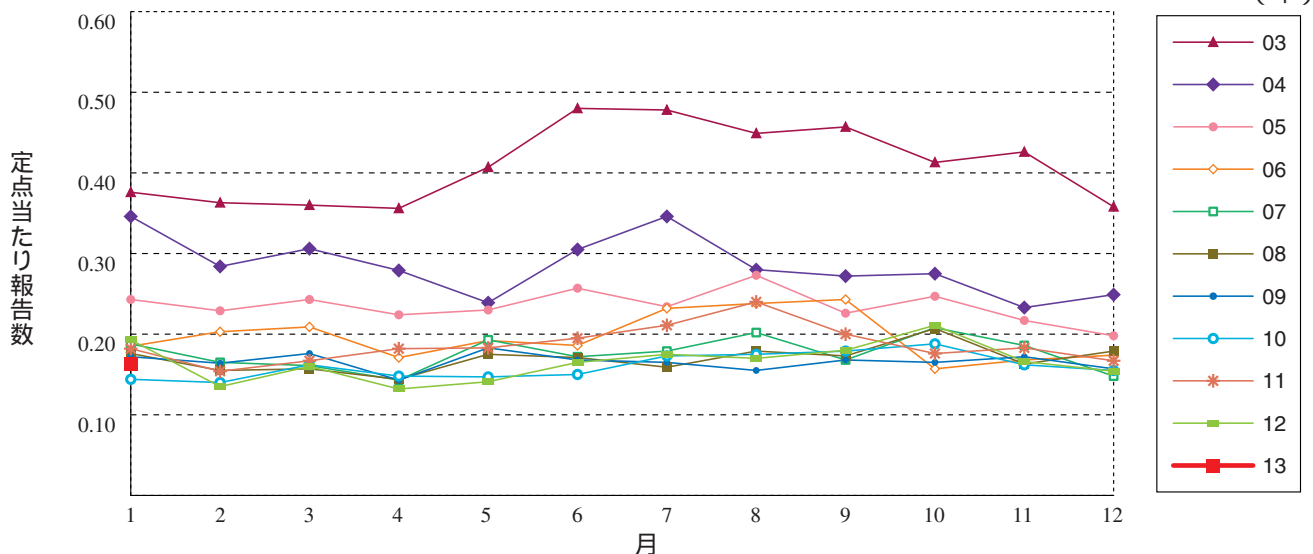
淋菌感染症 (総数)



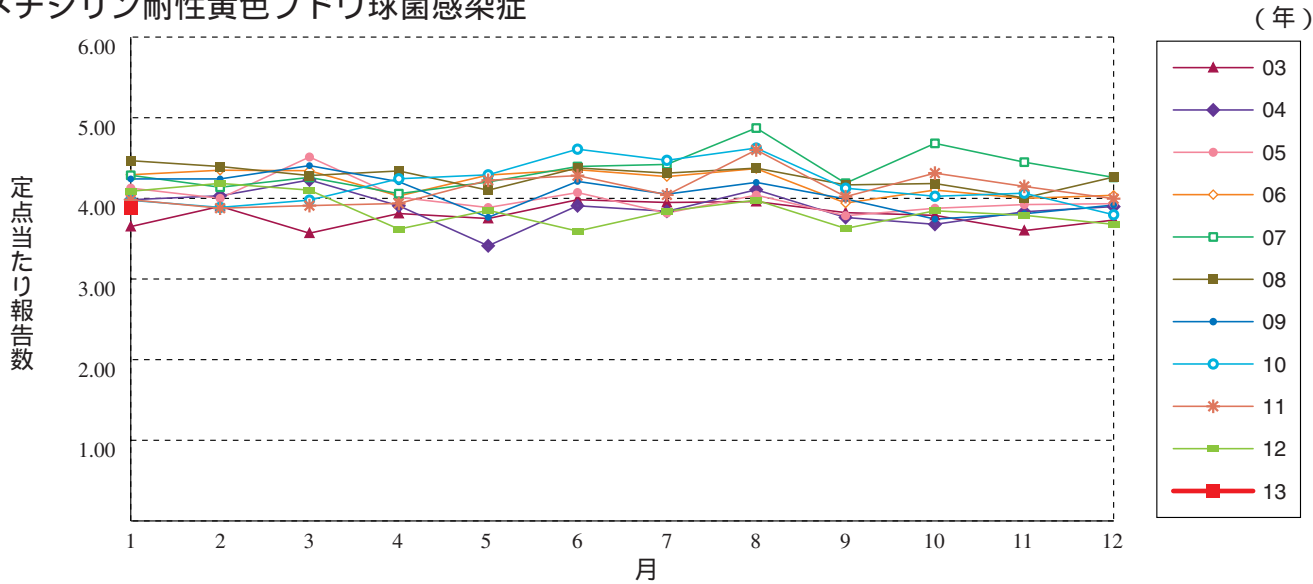
淋菌感染症 (男性)



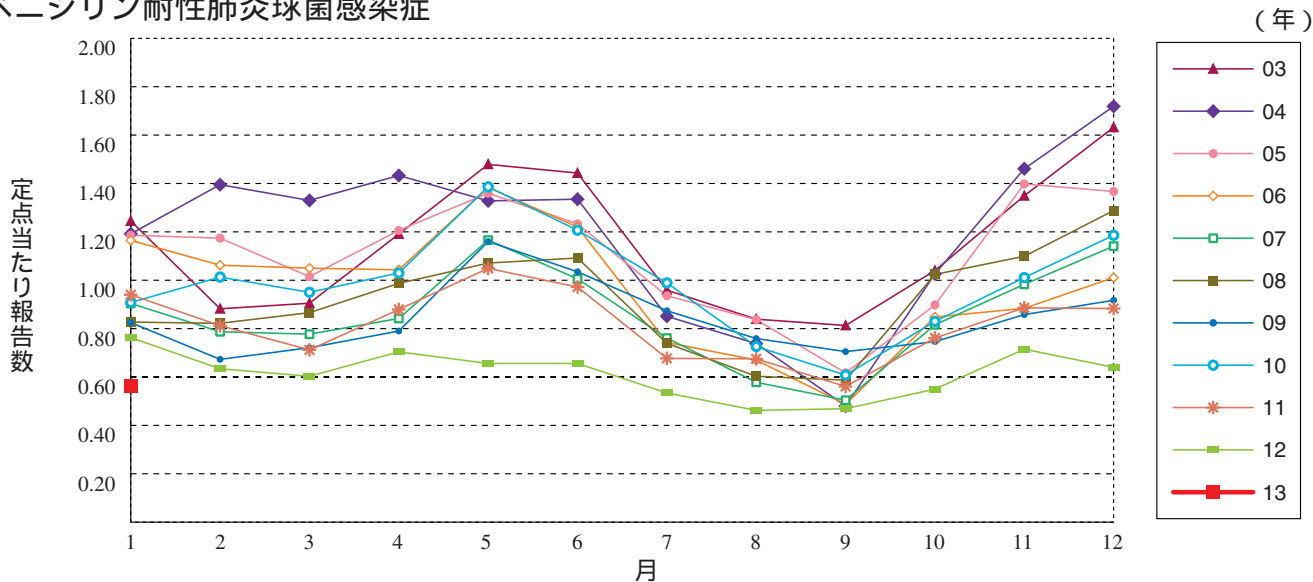
淋菌感染症 (女性)



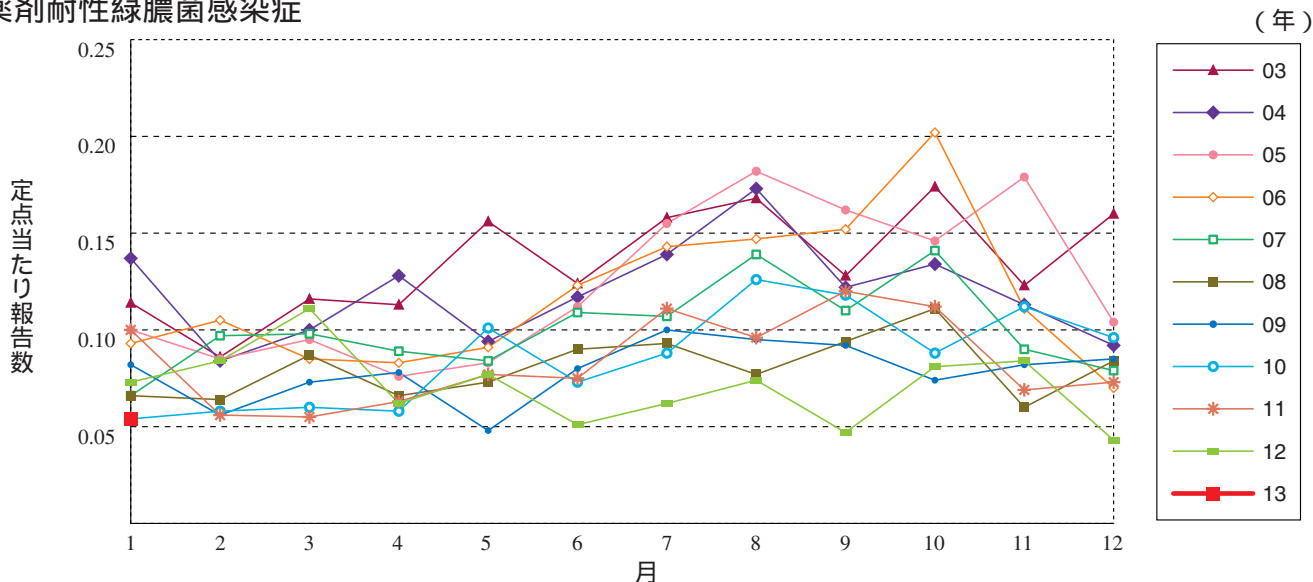
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

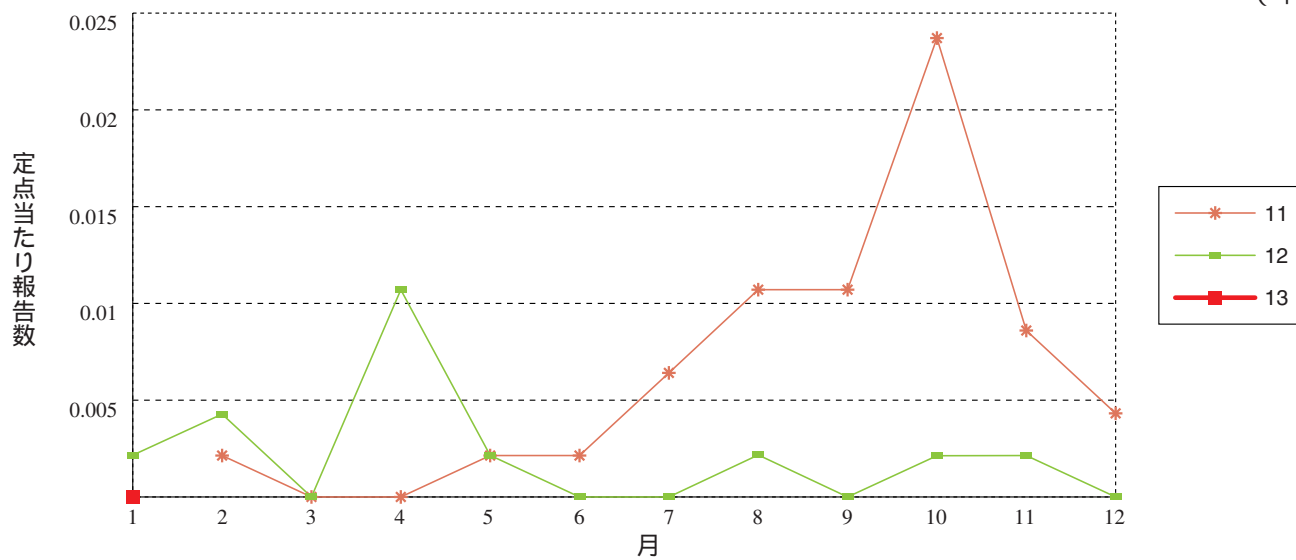


薬剤耐性緑膿菌感染症



薬剤耐性アシネトバクター感染症

(年)





1月のデータ 注 2月12日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

2013年1月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネトバクター感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2017	2.09	698	0.72	474	0.49	770	0.80	1811	3.88	263	0.56	25	0.05	-	-
北海道	133	3.17	28	0.67	11	0.26	27	0.64	72	3.13	6	0.26	-	-	-	-
青森県	22	1.69	11	0.85	9	0.69	4	0.31	5	0.83	-	-	1	0.17	-	-
岩手県	21	1.50	6	0.43	12	0.86	8	0.57	78	4.11	10	0.53	1	0.05	-	-
宮城県	41	2.28	20	1.11	13	0.72	19	1.06	32	2.67	4	0.33	-	-	-	-
秋田県	13	0.93	6	0.43	3	0.21	6	0.43	35	4.38	2	0.25	-	-	-	-
山形県	24	2.40	8	0.80	1	0.10	4	0.40	27	3.38	7	0.88	-	-	-	-
福島県	30	2.00	21	1.40	10	0.67	21	1.40	48	6.86	5	0.71	-	-	-	-
茨城県	67	3.05	12	0.55	3	0.14	10	0.45	20	1.54	-	-	-	-	-	-
栃木県	20	1.18	6	0.35	14	0.82	9	0.53	25	3.57	4	0.57	-	-	-	-
群馬県	71	2.96	9	0.38	18	0.75	16	0.67	24	3.00	3	0.38	-	-	-	-
埼玉県	99	1.80	46	0.84	25	0.45	43	0.78	11	1.22	-	-	-	-	-	-
千葉県	76	1.85	18	0.44	22	0.54	22	0.54	40	4.44	24	2.67	-	-	-	-
東京都	178	3.49	94	1.84	94	1.84	81	1.59	67	2.91	19	0.83	1	0.04	-	-
神奈川県	89	1.56	31	0.54	21	0.37	38	0.67	47	4.27	6	0.55	1	0.09	-	-
新潟県	23	1.53	7	0.47	1	0.07	12	0.80	89	6.85	11	0.85	3	0.23	-	-
富山県	6	0.60	5	0.50	3	0.30	3	0.30	7	1.40	1	0.20	-	-	-	-
石川県	32	3.20	6	0.60	2	0.20	12	1.20	17	3.40	1	0.20	-	-	-	-
福井県	7	1.40	2	0.40	2	0.40	1	0.20	16	2.67	4	0.67	-	-	-	-
山梨県	18	2.00	7	0.78	-	-	1	0.11	16	1.60	2	0.20	-	-	-	-
長野県	29	2.07	3	0.21	3	0.21	7	0.50	38	3.45	21	1.91	-	-	-	-
岐阜県	24	1.60	8	0.53	5	0.33	10	0.67	13	2.60	-	-	-	-	-	-
静岡県	61	2.03	18	0.60	6	0.20	8	0.27	34	3.40	2	0.20	1	0.10	-	-
愛知県	113	1.74	52	0.80	27	0.42	52	0.80	86	6.62	10	0.77	3	0.23	-	-
三重県	25	1.47	-	-	3	0.18	6	0.35	46	5.11	-	-	2	0.22	-	-
滋賀県	4	0.44	5	0.56	3	0.33	1	0.11	41	5.86	-	-	-	-	-	-
京都府	48	2.09	7	0.30	5	0.22	5	0.22	18	3.00	-	-	1	0.17	-	-
大阪府	171	2.63	62	0.95	54	0.83	80	1.23	95	5.28	21	1.17	3	0.17	-	-
兵庫県	69	1.50	16	0.35	10	0.22	33	0.72	35	3.18	9	0.82	1	0.09	-	-
奈良県	7	0.78	4	0.44	1	0.11	8	0.89	32	5.33	11	1.83	1	0.17	-	-
和歌山県	10	1.25	9	1.13	8	1.00	1	0.13	37	3.36	2	0.18	-	-	-	-
鳥取県	24	3.43	9	1.29	7	1.00	15	2.14	32	6.40	2	0.40	-	-	-	-
島根県	12	2.00	2	0.33	-	-	14	2.33	28	3.50	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	24	1.41	12	0.71	2	0.12	17	1.00	10	2.00	-	-	2	0.40	-	-
広島県	54	2.35	18	0.78	13	0.57	13	0.57	117	5.57	9	0.43	-	-	-	-
山口県	22	1.83	9	0.75	2	0.17	7	0.58	57	6.33	15	1.67	-	-	-	-
徳島県	16	2.67	3	0.50	4	0.67	-	-	32	5.33	5	0.83	-	-	-	-
香川県	20	1.33	11	0.73	6	0.40	7	0.47	16	3.20	5	1.00	-	-	-	-
愛媛県	5	0.45	6	0.55	3	0.27	5	0.45	11	1.83	1	0.17	-	-	-	-
高知県	2	0.33	1	0.17	1	0.17	-	-	24	3.00	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	127	3.43	39	1.05	19	0.51	56	1.51	34	2.27	6	0.40	-	-	-	-
佐賀県	32	4.57	3	0.43	1	0.14	26	3.71	23	3.83	-	-	1	0.17	-	-
長崎県	12	1.20	8	0.80	2	0.20	9	0.90	62	5.17	4	0.33	-	-	-	-
熊本県	61	3.81	24	1.50	13	0.81	24	1.50	16	1.07	8	0.53	-	-	-	-
大分県	9	0.90	4	0.40	4	0.40	2	0.20	84	7.64	20	1.82	2	0.18	-	-
宮崎県	18	1.38	4	0.31	1	0.08	6	0.46	50	7.14	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	31	1.94	9	0.56	5	0.31	16	1.00	9	0.75	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	17	1.42	9	0.75	2	0.17	5	0.42	55	7.86	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

2013年1月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネトバクター感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	964	1.00	284	0.29	272	0.28	612	0.63	1136	2.43	157	0.34	19	0.04	-	-
北海道	20	0.48	9	0.21	5	0.12	20	0.48	47	2.04	4	0.17	-	-	-	-
青森県	6	0.46	5	0.38	5	0.38	3	0.23	3	0.50	-	-	1	0.17	-	-
岩手県	7	0.50	4	0.29	-	-	7	0.50	50	2.63	7	0.37	-	-	-	-
宮城県	20	1.11	6	0.33	8	0.44	15	0.83	19	1.58	3	0.25	-	-	-	-
秋田県	5	0.36	2	0.14	-	-	6	0.43	21	2.63	1	0.13	-	-	-	-
山形県	5	0.50	2	0.20	1	0.10	2	0.20	20	2.50	3	0.38	-	-	-	-
福島県	13	0.87	15	1.00	6	0.40	18	1.20	36	5.14	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	23	1.05	1	0.05	2	0.09	5	0.23	12	0.92	-	-	-	-	-	-
栃木県	14	0.82	-	-	9	0.53	9	0.53	13	1.86	2	0.29	-	-	-	-
群馬県	41	1.71	1	0.04	10	0.42	14	0.58	17	2.13	1	0.13	-	-	-	-
埼玉県	54	0.98	17	0.31	11	0.20	38	0.69	6	0.67	-	-	-	-	-	-
千葉県	31	0.76	11	0.27	15	0.37	16	0.39	31	3.44	17	1.89	-	-	-	-
東京都	116	2.27	53	1.04	59	1.16	72	1.41	46	2.00	11	0.48	1	0.04	-	-
神奈川県	58	1.02	15	0.26	13	0.23	33	0.58	27	2.45	4	0.36	1	0.09	-	-
新潟県	11	0.73	3	0.20	1	0.07	11	0.73	58	4.46	4	0.31	3	0.23	-	-
富山県	1	0.10	-	-	1	0.10	2	0.20	4	0.80	1	0.20	-	-	-	-
石川県	11	1.10	3	0.30	2	0.20	10	1.00	12	2.40	1	0.20	-	-	-	-
福井県	2	0.40	-	-	-	-	1	0.20	11	1.83	3	0.50	-	-	-	-
山梨県	1	0.11	-	-	-	-	-	-	6	0.60	-	-	-	-	-	-
長野県	13	0.93	-	-	2	0.14	5	0.36	23	2.09	12	1.09	-	-	-	-
岐阜県	20	1.33	5	0.33	5	0.33	8	0.53	7	1.40	-	-	-	-	-	-
静岡県	30	1.00	7	0.23	5	0.17	6	0.20	20	2.00	-	-	1	0.10	-	-
愛知県	59	0.91	24	0.37	17	0.26	47	0.72	54	4.15	5	0.38	3	0.23	-	-
三重県	14	0.82	-	-	1	0.06	6	0.35	38	4.22	-	-	1	0.11	-	-
滋賀県	1	0.11	1	0.11	1	0.11	1	0.11	27	3.86	-	-	-	-	-	-
京都府	10	0.43	-	-	2	0.09	3	0.13	13	2.17	-	-	1	0.17	-	-
大阪府	65	1.00	19	0.29	24	0.37	52	0.80	65	3.61	11	0.61	1	0.06	-	-
兵庫県	42	0.91	5	0.11	9	0.20	24	0.52	22	2.00	6	0.55	1	0.09	-	-
奈良県	5	0.56	2	0.22	1	0.11	8	0.89	21	3.50	7	1.17	1	0.17	-	-
和歌山県	8	1.00	8	1.00	8	1.00	1	0.13	21	1.91	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	15	2.14	3	0.43	6	0.86	9	1.29	23	4.60	2	0.40	-	-	-	-
島根県	9	1.50	1	0.17	-	-	14	2.33	16	2.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	6	0.35	1	0.06	1	0.06	7	0.41	9	1.80	-	-	1	0.20	-	-
広島県	37	1.61	7	0.30	6	0.26	13	0.57	71	3.38	4	0.19	-	-	-	-
山口県	8	0.67	-	-	-	-	4	0.33	39	4.33	12	1.33	-	-	-	-
徳島県	15	2.50	3	0.50	3	0.50	-	-	21	3.50	4	0.67	-	-	-	-
香川県	12	0.80	5	0.33	4	0.27	5	0.33	9	1.80	5	1.00	-	-	-	-
愛媛県	3	0.27	4	0.36	3	0.27	5	0.45	6	1.00	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	-	-	19	2.38	-	-	-	-	-	-
福岡県	67	1.81	16	0.43	11	0.30	42	1.14	20	1.33	4	0.27	-	-	-	-
佐賀県	25	3.57	-	-	1	0.14	25	3.57	12	2.00	-	-	1	0.17	-	-
長崎県	6	0.60	4	0.40	2	0.20	7	0.70	32	2.67	4	0.33	-	-	-	-
熊本県	22	1.38	13	0.81	7	0.44	19	1.19	10	0.67	4	0.27	-	-	-	-
大分県	5	0.50	2	0.20	1	0.10	1	0.10	39	3.55	12	1.09	1	0.09	-	-
宮崎県	8	0.62	-	-	1	0.08	6	0.46	30	4.29	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	15	0.94	5	0.31	3	0.19	10	0.63	6	0.50	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	4	0.33	2	0.17	-	-	2	0.17	24	3.43	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

2013年1月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネトバクター感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1053	1.09	414	0.43	202	0.21	158	0.16	675	1.45	106	0.23	6	0.01	-	-
北海道	113	2.69	19	0.45	6	0.14	7	0.17	25	1.09	2	0.09	-	-	-	-
青森県	16	1.23	6	0.46	4	0.31	1	0.08	2	0.33	-	-	-	-	-	-
岩手県	14	1.00	2	0.14	12	0.86	1	0.07	28	1.47	3	0.16	1	0.05	-	-
宮城県	21	1.17	14	0.78	5	0.28	4	0.22	13	1.08	1	0.08	-	-	-	-
秋田県	8	0.57	4	0.29	3	0.21	-	-	14	1.75	1	0.13	-	-	-	-
山形県	19	1.90	6	0.60	-	-	2	0.20	7	0.88	4	0.50	-	-	-	-
福島県	17	1.13	6	0.40	4	0.27	3	0.20	12	1.71	4	0.57	-	-	-	-
茨城県	44	2.00	11	0.50	1	0.05	5	0.23	8	0.62	-	-	-	-	-	-
栃木県	6	0.35	6	0.35	5	0.29	-	-	12	1.71	2	0.29	-	-	-	-
群馬県	30	1.25	8	0.33	8	0.33	2	0.08	7	0.88	2	0.25	-	-	-	-
埼玉県	45	0.82	29	0.53	14	0.25	5	0.09	5	0.56	-	-	-	-	-	-
千葉県	45	1.10	7	0.17	7	0.17	6	0.15	9	1.00	7	0.78	-	-	-	-
東京都	62	1.22	41	0.80	35	0.69	9	0.18	21	0.91	8	0.35	-	-	-	-
神奈川県	31	0.54	16	0.28	8	0.14	5	0.09	20	1.82	2	0.18	-	-	-	-
新潟県	12	0.80	4	0.27	-	-	1	0.07	31	2.38	7	0.54	-	-	-	-
富山県	5	0.50	5	0.50	2	0.20	1	0.10	3	0.60	-	-	-	-	-	-
石川県	21	2.10	3	0.30	-	-	2	0.20	5	1.00	-	-	-	-	-	-
福井県	5	1.00	2	0.40	2	0.40	-	-	5	0.83	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	17	1.89	7	0.78	-	-	1	0.11	10	1.00	2	0.20	-	-	-	-
長野県	16	1.14	3	0.21	1	0.07	2	0.14	15	1.36	9	0.82	-	-	-	-
岐阜県	4	0.27	3	0.20	-	-	2	0.13	6	1.20	-	-	-	-	-	-
静岡県	31	1.03	11	0.37	1	0.03	2	0.07	14	1.40	2	0.20	-	-	-	-
愛知県	54	0.83	28	0.43	10	0.15	5	0.08	32	2.46	5	0.38	-	-	-	-
三重県	11	0.65	-	-	2	0.12	-	-	8	0.89	-	-	1	0.11	-	-
滋賀県	3	0.33	4	0.44	2	0.22	-	-	14	2.00	-	-	-	-	-	-
京都府	38	1.65	7	0.30	3	0.13	2	0.09	5	0.83	-	-	-	-	-	-
大阪府	106	1.63	43	0.66	30	0.46	28	0.43	30	1.67	10	0.56	2	0.11	-	-
兵庫県	27	0.59	11	0.24	1	0.02	9	0.20	13	1.18	3	0.27	-	-	-	-
奈良県	2	0.22	2	0.22	-	-	-	-	11	1.83	4	0.67	-	-	-	-
和歌山県	2	0.25	1	0.13	-	-	-	-	16	1.45	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	9	1.29	6	0.86	1	0.14	6	0.86	9	1.80	-	-	-	-	-	-
島根県	3	0.50	1	0.17	-	-	-	-	12	1.50	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	18	1.06	11	0.65	1	0.06	10	0.59	1	0.20	-	-	1	0.20	-	-
広島県	17	0.74	11	0.48	7	0.30	-	-	46	2.19	5	0.24	-	-	-	-
山口県	14	1.17	9	0.75	2	0.17	3	0.25	18	2.00	3	0.33	-	-	-	-
徳島県	1	0.17	-	-	1	0.17	-	-	11	1.83	1	0.17	-	-	-	-
香川県	8	0.53	6	0.40	2	0.13	2	0.13	7	1.40	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.18	2	0.18	-	-	-	-	5	0.83	1	0.17	-	-	-	-
高知県	1	0.17	1	0.17	1	0.17	-	-	5	0.63	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	60	1.62	23	0.62	8	0.22	14	0.38	14	0.93	2	0.13	-	-	-	-
佐賀県	7	1.00	3	0.43	-	-	1	0.14	11	1.83	-	-	-	-	-	-
長崎県	6	0.60	4	0.40	-	-	2	0.20	30	2.50	-	-	-	-	-	-
熊本県	39	2.44	11	0.69	6	0.38	5	0.31	6	0.40	4	0.27	-	-	-	-
大分県	4	0.40	2	0.20	3	0.30	1	0.10	45	4.09	8	0.73	1	0.09	-	-
宮崎県	10	0.77	4	0.31	-	-	-	-	20	2.86	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	16	1.00	4	0.25	2	0.13	6	0.38	3	0.25	-	-	-	-	-	-
沖縄県	13	1.08	7	0.58	2	0.17	3	0.25	31	4.43	-	-	-	-	-	-



6週のデータ

注) 表中の報告数は2月13日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年6週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	315	2264
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	56
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	35
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	22
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	23
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	30
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	27
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	41
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	29
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	110
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	91
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	377
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	158
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	44
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	32
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	41
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	61
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	150
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	28
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	40
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	167
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	104
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	21
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	28
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	43
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	109
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	16
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	27
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	23
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	33
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	28
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年6週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		鳥インフルエンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	13	62	-	6	-	5	2	10
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	4
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	3	-	2	-	4
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年6週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	3	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年6週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	29	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2013年6週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年6週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年6週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	14	89	-	1	-	-	11	96	2	16	8	63	-	-
北海道	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	4	-	-	-	5	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	6	-	-	1	5	-	-
東京都	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	2	19	-	6	-	7	-	-
神奈川県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	1	14	-	4	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	1	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	1	4	-	-	1	7	-	-
三重県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1	1	1	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	1	9	-	1	4	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	4	1	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	3	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年6週

	クローンツェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	13	5	26	5	118	2	7	-	-	-	1	10	92	-	7	-	-
北海道	-	-	1	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-
東京都	-	2	1	4	2	35	1	2	-	-	-	-	4	28	-	2	-	-
神奈川県	-	1	-	4	-	9	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-
三重県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	1	9	-	-	-	-	-	1	-	14	-	1	-	-
兵庫県	-	1	1	3	-	4	1	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
広島県	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	1	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2013年6週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	14	138	535	7	32
北海道	-	1	2	2	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	2	-	1
茨城県	-	-	3	7	-	-
栃木県	-	-	2	3	-	-
群馬県	-	-	2	4	-	-
埼玉県	1	2	15	56	-	1
千葉県	-	-	18	41	1	8
東京都	-	1	60	249	3	11
神奈川県	-	-	13	65	1	7
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	1	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	3	-	-
愛知県	1	5	2	16	-	-
三重県	-	-	2	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	1
大阪府	1	3	8	29	1	1
兵庫県	-	-	8	27	1	2
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	1	-	8	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年6週

	インフルエンザ*		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	報告数	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	131544	26.70	1423	916	0.29	6251	1.99	24353	7.75	4066	1.29	546	0.17	153	0.05	1451	0.46	
北海道	6368	28.05	63	44	0.31	458	3.20	384	2.69	128	0.90	11	0.08	3	0.02	54	0.38	
青森県	1677	26.20	7	8	0.20	41	1.00	242	5.90	34	0.83	1	0.02	2	0.05	12	0.29	
岩手県	2188	34.19	8	7	0.18	53	1.33	208	5.20	38	0.95	-	-	13	0.33	15	0.38	
宮城県	2036	21.89	18	16	0.28	92	1.59	390	6.72	89	1.53	22	0.38	7	0.12	41	0.71	
秋田県	1766	32.11	9	16	0.46	49	1.40	244	6.97	23	0.66	4	0.11	4	0.11	14	0.40	
山形県	1047	21.81	5	20	0.67	118	3.93	199	6.63	43	1.43	1	0.03	1	0.03	12	0.40	
福島県	1896	24.95	40	5	0.11	105	2.33	277	6.16	43	0.96	3	0.07	-	-	15	0.33	
茨城県	2460	20.50	8	13	0.17	91	1.21	513	6.84	62	0.83	22	0.29	3	0.04	23	0.31	
栃木県	1283	17.11	12	3	0.06	74	1.57	232	4.94	42	0.89	14	0.30	-	-	22	0.47	
群馬県	1533	15.64	7	10	0.17	72	1.20	420	7.00	64	1.07	7	0.12	1	0.02	15	0.25	
埼玉県	5974	24.28	35	54	0.35	355	2.29	1405	9.06	169	1.09	17	0.11	9	0.06	77	0.50	
千葉県	5301	25.73	27	29	0.22	424	3.29	940	7.29	154	1.19	10	0.08	7	0.05	63	0.49	
東京都	8804	21.27	79	66	0.25	632	2.41	2118	8.08	230	0.88	22	0.08	19	0.07	125	0.48	
神奈川県	7902	23.95	59	36	0.18	367	1.79	1370	6.68	223	1.09	25	0.12	9	0.04	118	0.58	
新潟県	3764	39.62	5	21	0.35	173	2.88	279	4.65	74	1.23	15	0.25	8	0.13	34	0.57	
富山県	1554	32.38	2	15	0.52	128	4.41	217	7.48	68	2.34	8	0.28	1	0.03	15	0.52	
石川県	1442	30.04	5	15	0.52	182	6.28	221	7.62	36	1.24	15	0.52	-	-	11	0.38	
福井県	857	26.78	7	5	0.23	90	4.09	257	11.68	56	2.55	-	-	2	0.09	6	0.27	
山梨県	1091	27.28	5	4	0.17	29	1.21	135	5.63	16	0.67	1	0.04	1	0.04	2	0.08	
長野県	2769	31.83	44	12	0.22	116	2.15	399	7.39	69	1.28	-	-	1	0.02	19	0.35	
岐阜県	2503	28.77	14	22	0.42	57	1.08	279	5.26	63	1.19	4	0.08	4	0.08	24	0.45	
静岡県	4404	31.68	64	14	0.16	116	1.30	719	8.08	114	1.28	21	0.24	-	-	33	0.37	
愛知県	8239	42.47	62	31	0.17	193	1.07	1599	8.88	187	1.04	7	0.04	10	0.06	78	0.43	
三重県	1918	26.64	29	12	0.27	67	1.49	382	8.49	46	1.02	9	0.20	-	-	21	0.47	
滋賀県	1525	28.77	12	9	0.28	47	1.47	168	5.25	36	1.13	5	0.16	-	-	11	0.34	
京都府	2854	24.19	19	15	0.21	115	1.58	483	6.62	91	1.25	1	0.01	3	0.04	22	0.30	
大阪府	7035	22.77	149	59	0.30	503	2.52	1422	7.11	207	1.04	29	0.15	7	0.04	88	0.44	
兵庫県	5781	29.20	57	49	0.38	166	1.30	1205	9.41	198	1.55	5	0.04	6	0.05	45	0.35	
奈良県	1208	21.96	21	12	0.34	29	0.83	176	5.03	37	1.06	-	-	1	0.03	11	0.31	
和歌山県	984	19.68	29	4	0.13	18	0.58	164	5.29	36	1.16	-	-	-	-	11	0.35	
鳥取県	653	22.52	8	2	0.11	84	4.42	128	6.74	26	1.37	2	0.11	2	0.11	10	0.53	
島根県	877	23.08	8	6	0.26	33	1.43	228	9.91	30	1.30	14	0.61	-	-	15	0.65	
岡山県	2174	25.88	19	9	0.17	49	0.91	445	8.24	52	0.96	4	0.07	2	0.04	19	0.35	
広島県	3965	34.48	50	24	0.33	101	1.40	586	8.14	77	1.07	20	0.28	5	0.07	31	0.43	
山口県	1663	24.10	41	10	0.21	139	2.90	423	8.81	101	2.10	1	0.02	2	0.04	29	0.60	
徳島県	799	21.03	35	6	0.26	24	1.04	198	8.61	34	1.48	1	0.04	-	-	20	0.87	
香川県	1469	29.98	13	2	0.07	31	1.03	281	9.37	37	1.23	-	-	7	0.23	11	0.37	
愛媛県	2228	36.52	31	5	0.14	78	2.11	354	9.57	54	1.46	1	0.03	-	-	23	0.62	
高知県	1412	29.42	59	1	0.03	28	0.93	288	9.60	40	1.33	5	0.17	-	-	8	0.27	
福岡県	5272	26.63	77	69	0.58	315	2.63	1102	9.18	238	1.98	132	1.10	1	0.01	102	0.85	
佐賀県	658	17.32	7	9	0.41	31	1.41	120	5.45	41	1.86	5	0.23	1	0.05	19	0.86	
長崎県	1958	27.97	18	21	0.48	50	1.14	417	9.48	110	2.50	8	0.18	-	-	17	0.39	
熊本県	1590	19.88	43	33	0.66	109	2.18	836	16.72	104	2.08	24	0.48	1	0.02	27	0.54	
大分県	1403	24.19	32	17	0.47	51	1.42	422	11.72	61	1.69	24	0.67	4	0.11	20	0.56	
宮崎県	1726	29.25	35	44	1.22	74	2.06	631	17.53	103	2.86	-	-	3	0.08	35	0.97	
鹿児島県	3784	40.69	33	30	0.55	70	1.27	728	13.24	172	3.13	13	0.24	2	0.04	17	0.31	
沖縄県	1750	30.17	13	2	0.06	24	0.71	119	3.50	110	3.24	13	0.38	1	0.03	11	0.32	

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年6週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	35	0.01	67	0.02	631	0.20	14	0.02	318	0.47	11	0.02	14	0.03	261	0.56	15	0.03
北海道	1	0.01	1	0.01	5	0.03	-	-	5	0.17	-	-	-	-	3	0.13	-	-
青森県	-	-	-	-	8	0.20	-	-	7	0.64	-	-	-	-	7	1.17	-	-
岩手県	1	0.03	-	-	25	0.63	-	-	5	0.36	-	-	-	-	13	0.68	1	0.05
宮城県	1	0.02	-	-	23	0.40	-	-	3	0.25	-	-	-	-	22	1.83	-	-
秋田県	2	0.06	-	-	11	0.31	-	-	4	0.57	-	-	-	-	5	0.63	-	-
山形県	-	-	-	-	27	0.90	-	-	2	0.25	-	-	1	0.10	6	0.60	-	-
福島県	2	0.04	-	-	12	0.27	-	-	4	0.33	1	0.14	-	-	7	1.00	-	-
茨城県	-	-	-	-	5	0.07	-	-	12	0.71	1	0.08	-	-	6	0.46	-	-
栃木県	1	0.02	-	-	10	0.21	-	-	6	0.55	1	0.14	-	-	3	0.43	1	0.14
群馬県	-	-	-	-	12	0.20	-	-	18	1.29	1	0.13	-	-	5	0.63	-	-
埼玉県	1	0.01	-	-	29	0.19	-	-	24	0.57	-	-	-	-	10	1.11	-	-
千葉県	3	0.02	1	0.01	17	0.13	-	-	15	0.52	1	0.11	1	0.11	3	0.33	1	0.11
東京都	3	0.01	3	0.01	41	0.16	-	-	11	0.30	1	0.04	1	0.04	14	0.61	2	0.09
神奈川県	-	-	3	0.01	43	0.21	1	0.02	37	0.90	1	0.13	-	-	2	0.25	-	-
新潟県	2	0.03	1	0.02	7	0.12	2	0.20	13	1.30	-	-	-	-	4	0.31	5	0.38
富山県	-	-	2	0.07	3	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80	-	-
福井県	-	-	2	0.09	25	1.14	-	-	-	-	-	-	1	0.17	2	0.33	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	-	-	2	0.22	-	-	-	-	3	0.30	-	-
長野県	-	-	-	-	3	0.06	-	-	7	0.64	-	-	1	0.09	13	1.18	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	8	0.15	-	-	3	0.27	-	-	-	-	5	1.00	-	-
静岡県	2	0.02	2	0.02	5	0.06	-	-	8	0.36	-	-	-	-	8	0.80	-	-
愛知県	1	0.01	2	0.01	41	0.23	-	-	9	0.26	-	-	1	0.07	11	0.79	-	-
三重県	-	-	-	-	8	0.18	-	-	1	0.08	-	-	-	-	4	0.44	1	0.11
滋賀県	2	0.06	-	-	5	0.16	-	-	-	-	-	-	-	4	0.57	-	-	
京都府	-	-	1	0.01	5	0.07	-	-	2	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	2	0.01	15	0.08	-	-	10	0.19	-	-	-	-	11	0.65	1	0.06
兵庫県	-	-	-	-	9	0.07	-	-	14	0.40	-	-	1	0.09	8	0.73	-	-
奈良県	-	-	-	-	2	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	4	0.13	-	-	1	0.25	1	0.09	1	0.09	6	0.55	2	0.18
鳥取県	-	-	-	-	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60	-	-
島根県	-	-	-	-	3	0.13	-	-	-	-	-	-	1	0.13	2	0.25	-	-
岡山県	-	-	1	0.02	18	0.33	1	0.08	5	0.42	-	-	-	-	7	1.40	-	-
広島県	4	0.06	-	-	8	0.11	-	-	9	0.47	2	0.10	1	0.05	1	0.05	-	-
山口県	-	-	2	0.04	10	0.21	-	-	4	0.44	-	-	-	-	8	0.89	-	-
徳島県	-	-	-	-	3	0.13	-	-	2	0.50	-	-	-	-	1	0.20	-	-
香川県	-	-	-	-	4	0.13	-	-	1	0.33	-	-	1	0.20	2	0.40	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	6	0.16	-	-	5	0.63	-	-	-	-	3	0.50	-	-
高知県	-	-	1	0.03	3	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1.25	1	0.13
福岡県	2	0.02	6	0.05	79	0.66	1	0.04	12	0.46	1	0.07	1	0.07	3	0.20	-	-
佐賀県	-	-	-	-	3	0.14	-	-	2	0.50	-	-	-	-	1	0.17	-	-
長崎県	1	0.02	24	0.55	21	0.48	8	1.00	1	0.13	-	-	-	-	2	0.17	-	-
熊本県	1	0.02	2	0.04	8	0.16	-	-	16	1.78	-	-	-	-	2	0.13	-	-
大分県	-	-	2	0.06	19	0.53	-	-	1	0.20	-	-	-	-	5	0.45	-	-
宮崎県	-	-	2	0.06	18	0.50	-	-	22	3.67	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	2	0.04	10	0.18	-	-	4	0.57	-	-	-	-	11	0.92	-	-
沖縄県	3	0.09	2	0.06	8	0.24	1	0.10	11	1.10	-	-	2	0.29	6	0.86	-	-

報告数・疾病・都道府県別
 2013年6週

	インフルエンザ (入院患者)
	報告数
総 数	1,156
北海道	28
青森県	22
岩手県	59
宮城県	36
秋田県	33
山形県	48
福島県	12
茨城県	56
栃木県	9
群馬県	33
埼玉県	20
千葉県	26
東京都	59
神奈川県	36
新潟県	45
富山県	26
石川県	16
福井県	17
山梨県	16
長野県	24
岐阜県	20
静岡県	15
愛知県	90
三重県	26
滋賀県	19
京都府	4
大阪府	67
兵庫県	19
奈良県	2
和歌山県	14
鳥取県	7
島根県	14
岡山県	7
広島県	33
山口県	15
徳島県	15
香川県	2
愛媛県	14
高知県	24
福岡県	14
佐賀県	10
長崎県	9
熊本県	38
大分県	13
宮崎県	5
鹿児島県	17
沖縄県	22

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年6週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2013年6週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第15巻 第6号 2013年2月22日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。